

第4期 ● 令和3～7年度(2021～2025年度)
南区地域福祉保健計画

区民のこころ情が

生きるまち

南区

2025年、私

住民一人ひとりが「南区に住んでいて
人と人がつながる活動や取組を

こども会で
知り合ったママ友と
困った時に、
お互い様で
助け合っています



近所の花屋の
店員さんがいつも
声をかけてくれて、
ホッとします



大きく
なったね /



／こんにちは /



私の国の料理を
紹介したことを
きっかけに、友達が
増えました

私の好きな
接客をしています
お客さんとの会話が
楽しいです



／また
きてね /

「地域福祉保健計画」では、区民の皆さんお一人ひとりと福祉保健関係
誰もが安心して自分らしく健やか

たちのまち

よかったね!」と思えるまちを目指し、
住民の皆さんと進めていきます



困っていた時、
近所の人
気付いてくれて、
助かりました



夫婦で地域の
ウォーキングに
参加して、運動の
気持ちよさに
気付きました



いつも
ありがとう



地域のサロンで
交流が増えて、
心も体も元気に
なれます

元気ですか

隣のお年寄りの
ゴミと一緒に
出して、喜ばれて
います

団体、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどが力を合わせて、
に暮らせる地域を目指しています

南区長 松山 弘子

このたび、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第4期南区地域福祉保健計画を策定いたしました。この計画は、「区民の情(こころ)が生きるまち 南区」という基本理念を掲げ、地域の皆様と区役所、区社会福祉協議会及び地域ケアプラザ等が力を合わせて進めていく活動や取組をまとめたものです。計画の策定にあたっては、地域の皆様をはじめ関係する団体や施設など、多くの方からご意見を伺いながら進めてまいりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



計画策定中には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで地域で行われてきた「見守り・支え合い」、「つながりづくり」や「健康づくり」の活動の多くが中止や延期を余儀なくされました。活動の再開を待ち望むお声を伺う機会も多く、改めて地域活動や計画推進の重要性を感じました。

第4期計画においても、南区の住民お一人おひとりが「健康で安心して暮らせるまち」を目指し、計画の推進に取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

南区社会福祉協議会会長 大津 幸雄

昨今の少子高齢化や人口減少は人々の生活形態、価値観に大きな変化をもたらしています。また震災、風水害などの自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大により私たちの生活が大きな影響を受けました。「健康で安心して暮らせるまち」を実現するために身近な地域のつながりや支え合いを進める必要がありますが、それには誰もが地域に関心を持ち、活動や参加できる機会や場がとても大事だと実感しています。



このたび第4期南区地域福祉保健計画を策定いたしました。策定にあたっては、地区社会福祉協議会、区役所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会が協力して、地域での話し合いにより住民の皆様をはじめ関係機関・団体から様々なご意見を聞かせていただきました。地域のニーズを見据え、これまで南区内で行われてきた多様な活動を継続させていくことや、新たな課題の解決に向けた取り組みを第4期計画に反映させています。

私たち一人ひとりがそれぞれの立場で「できること」を実践して、第4期計画の基本理念にある「共に支え合い、健康で自分らしく、安心して笑顔で暮らしていけるまち」を目指して、南区一体となって進めていきたいと思っております。皆様のご協力をお願いいたします。

目次

第1章 ● 南区地域福祉保健計画について

- 1 はじめに…………… 1
- 2 計画の根拠
- 3 計画の構成
- 4 南区地域福祉保健計画とは…………… 2
- 5 計画期間と取組の歴史…………… 3

第2章 ● 第4期計画が目指すものと背景

- 1 南区の様子…………… 5
 - (1) 地理的特徴
 - (2) 区民の様子
- 2 第3期計画の振り返り…………… 10
- 3 第4期計画に向けて…………… 14
- 4 第4期計画が目指すもの…………… 16
 - (1) 基本理念
 - (2) 4つの目標

第3章 ● 区全体計画

- 1 計画の目標と取組の柱…………… 18
- 2 目標を実現するための取組…………… 20
 - 目標1：孤立しがちな人をお互いさまのまなざしで、
見守り・支え合いの活動を広げよう
 - 目標2：様々な個性や世代の住民が参加・活躍できる機会や
場づくりを進めよう
 - 目標3：情報を届けることで地域・活動への関心を高めよう
 - 目標4：地域福祉保健の活動の基盤を強くしよう

第4章 ● 地区別計画

- 1 地区別計画のエリア…………… 33
- 2 地区別計画の策定までの流れ
- 地区別計画…………… 34
 - ①お三の宮地区 ②太田地区 ③太田東部地区
 - ④寿東部地区 ⑤中村地区 ⑥蒔田地区
 - ⑦堀ノ内睦町地区 ⑧井土ヶ谷地区 ⑨南永田山王台地区
 - ⑩北永田地区 ⑪永田みなみ台地区 ⑫六ツ川地区
 - ⑬六ツ川大池地区 ⑭本大岡地区 ⑮大岡地区
 - ⑯別所地区

第5章 ● 計画の推進

- 1 第4期計画の推進 67
- 2 推進体制
- 3 計画の振り返りとスケジュール

第6章 ● 資料編

- 1 策定経過 69
 - 2 用語集 70
- 南区地域ケアプラザ(地域包括支援センター)一覧 72

● 本計画書に出ているキャラクターの紹介 ●



みなっち

南区
マスコットキャラクター
桜の花びらをモチーフにした
桜の妖精です。



トモニー

南区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
『共に』歩み、『共に』福祉を進めてい
きたいと願って名付けられました。



福ちゃん



健くん

南区が大好きな子ども達です。

● みなっちコラム ①



新型コロナウイルス感染症と地域活動の様子

令和2年初頭から新型コロナウイルス感染症が流行し、私達の生活全般に影響を与え、特に人とのつながりに変化がでています。

地域では、感染拡大防止に向けた取組の影響で、子育てサロンや高齢者サロン、子ども食堂などの住民同士のつながりに取り組む多くの活動が休止せざるを得ない状況となりました。これまで地域活動に参加していた方々をはじめ多くの方が自宅で過ごすことを余儀なくされたため、一部の方には孤立化などによる心身の健康への影響がでています。

これからも予測のつかない出来事が起こるかもしれませんが、「私達が笑顔で暮らし続ける」ためには、この計画で目指す「つながりづくり」や「支え合い」等は、大切なことだと考えます。

第4期計画の策定にあたり、「切れかけたつながりをつなぎなおす」、「新たな絆をつくる」ための取組を地域住民の皆さんと話し合ってきました。この計画が住民のみなさん一人ひとりが行動するための、また人や地域とのつながりを広げるための道標になればと思っています。

地域の活動は工夫をしながら、少しずつ再開しています。しかしながら、今まで通りの活動ができず、再開に向けて検討を重ねている活動もあります。この冊子に掲載が間に合わなかった活動については、自治会町内会の掲示板や地域ケアプラザ広報、ホームページ等で情報発信していく予定です。是非、興味のある活動を見つけ、参加してください。

1 はじめに

少子高齢化やつながりの希薄化など、私達を取り巻く社会の状況は大きく変化するとともに、「社会的孤立」をはじめとした様々な課題を複合化し、既存制度では対応できない「制度の狭間の問題」が増えてきました。こうした状況を踏まえ、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と地域社会にある様々な社会資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現が求められています。

2 計画の根拠

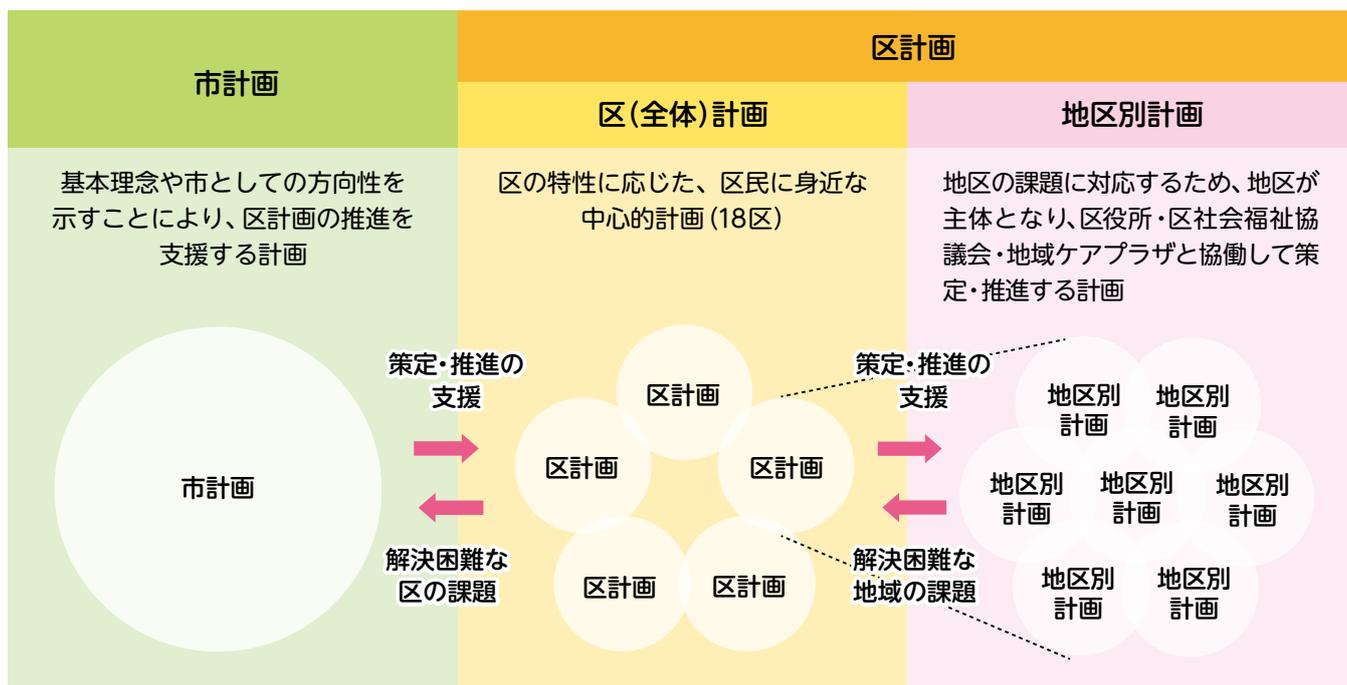
社会福祉法第107条に基づき、「市町村地域福祉計画」を策定するよう努めることとされています。横浜市では、「地域福祉」に「地域保健」などの視点も入れて「横浜市地域福祉保健計画」として、策定・推進しています。

3 計画の構成

市計画と区計画の関係

横浜市の地域福祉保健計画は、市計画、18区計画及び地区別計画で構成しています。市計画は横浜市全体の基本理念と方向性を示し区計画を支援する計画です。

●市計画と区計画の関係性

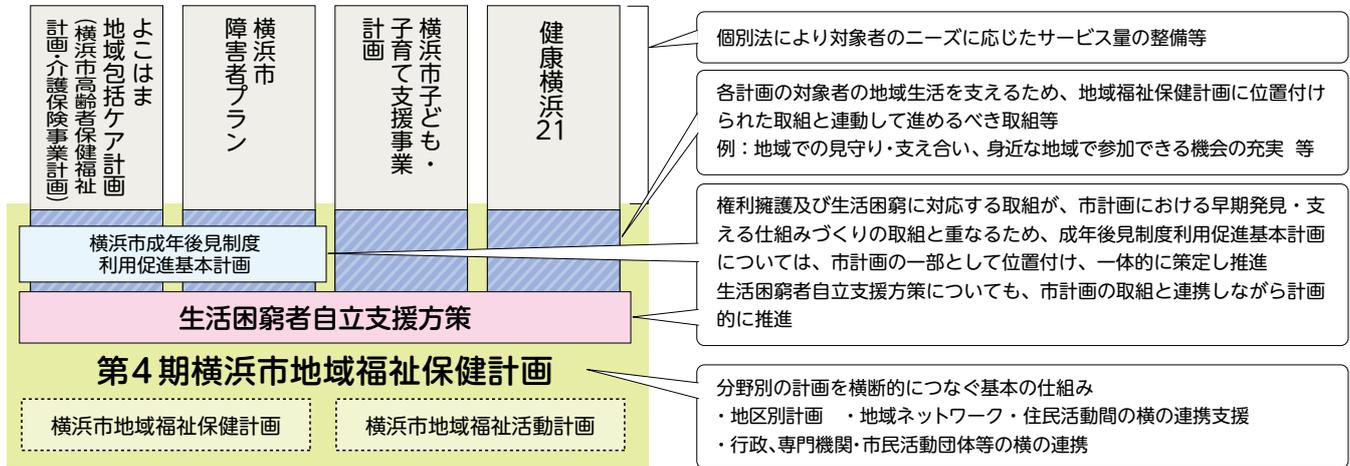


分野別計画との関係

横浜市には、各法を根拠とする福祉保健の分野別計画として以下の計画があります。
地域福祉保健計画は、各計画を横断的につなぐ役割があります。

● 分野別計画との関係

地域福祉保健計画と他分野との関係 → 分野別の福祉保健行政を横断的に展開する仕組みづくり



4 南区地域福祉保健計画とは

南区地域福祉保健計画(以下、「計画」という。)は、区内16連合町内会エリアごとに定める「地区別計画」と区全体で定める「区全体計画」で構成されています。

2つの計画は、基本理念の実現を目指し、連携することで南区全体の取組が進みます。

地区別計画

その地区に住む住民が主体となり、地域の福祉保健課題を地域特性や資源を活かしながら検討し、解決していくために策定・推進する計画です。

区全体計画

区役所、区社会福祉協議会(以下、「区社協」という。)、地域ケアプラザ(以下、「ケアプラザ」という。)等が中心となり、区域全体の課題を解決していくため、また、各地区別計画の取組を支援していくための取組を策定・推進する計画です。

基本理念

基本理念や目標を実現するための取組

地区別計画

地区の皆さんが取り組む計画

- 地域特性や資源を活かしながら課題を解決する取組

連携・協働

区全体計画

区役所、区社協及びケアプラザが
区民と協働で取り組む計画

- 区全体の課題に対する取組

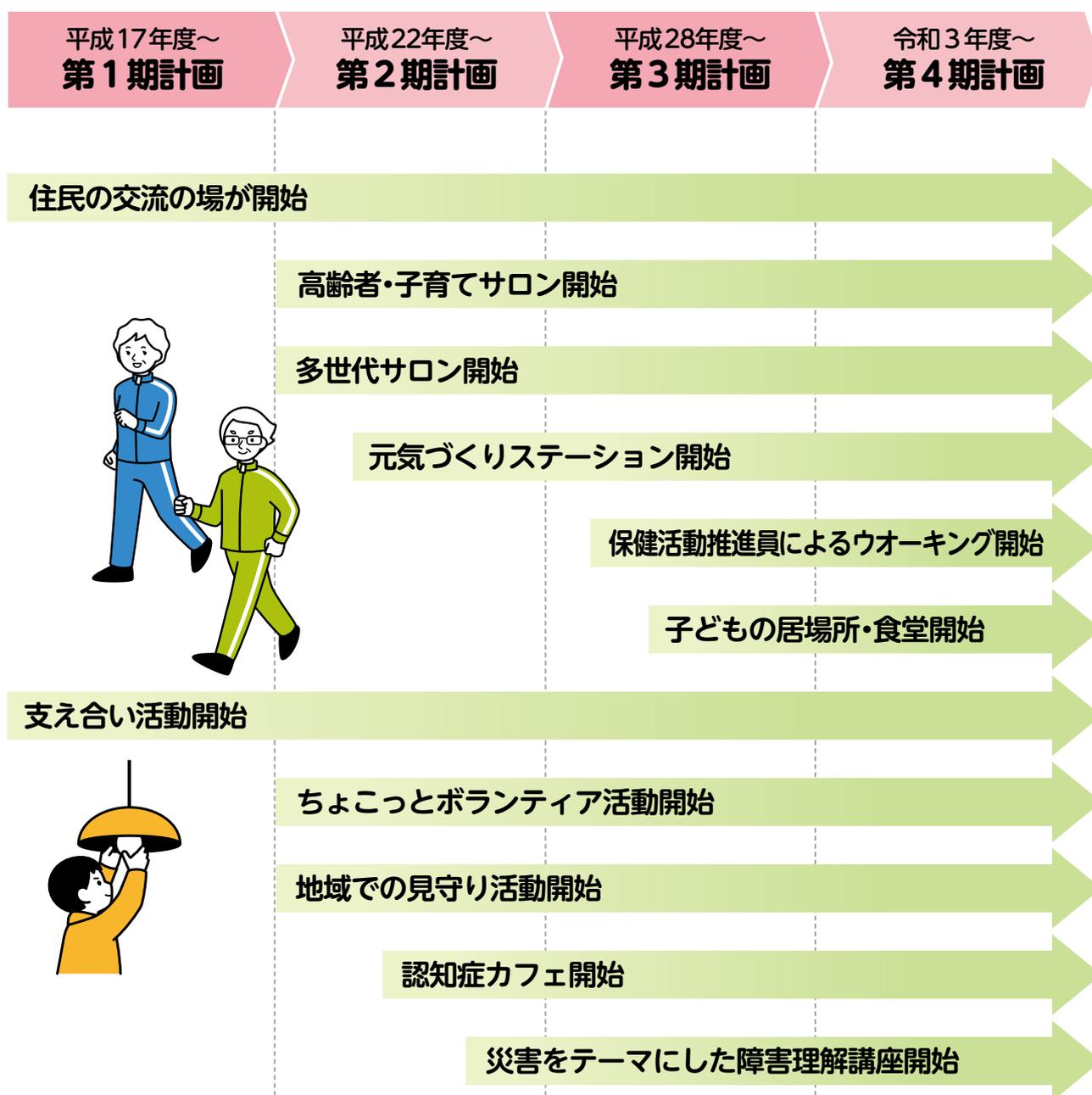
5 計画期間と取組の歴史

第1期計画が始まった平成17年度から、「高齢者等の見守り」や「交流の場・サロン活動」、「健康づくり・介護予防の取組」等、地区の皆さんや地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」という。)、自治会町内会、福祉保健団体、区役所、区社協、ケアプラザ等の関係機関が協力して進めてきました。

第4期計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5か年です。



南区地域福祉保健計画で実施してきた取組





社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、戦後間もない昭和26年に、民間の社会福祉活動を強化するため、全国、都道府県レベルで誕生し、ほどなく市区町村レベルにも設立された、民間の社会福祉団体です。

通称：社協と呼ばれており、社会福祉法第109条に「地域福祉を推進する中心的な役割を持つ組織」として位置づけられています。地域住民や福祉関係者に支えられた「公共性」と、民間組織としての「自主性」という二つの側面を併せ持っています。

神奈川県には神奈川県社会福祉協議会『県社協』、横浜市には横浜市社会福祉協議会『市社協』、市内18区には各区社会福祉協議会、南区は『南区社協』が組織されており、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」ことを目指して、地域住民や社会福祉関係者などの参加と協力を得ながら住民が主体となる地域福祉活動を支援しています。

なお、南区内には連合町内会単位に地区社会福祉協議会が組織され、地区内の福祉・保健活動の担い手や団体等が参加し、地域福祉の推進に取り組んでいます。

全国共通の社協マーク▶



地域ケアプラザのご紹介 ～誰もが利用できる施設です！～

●福祉・保健の行事やイベントの開催

健康や生活に役立つ様々な行事やイベントの開催を行っています。

- ・ 体操教室や福祉講座、子育てサロンなど

●地域の皆さんの福祉・保健活動や交流の場

福祉・保健活動の支援や交流の場などの提供を行っています。

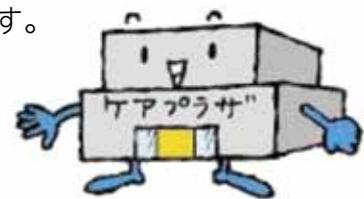
- ・ 「ボランティア」や「体操」を始めたいなどの相談やコーディネート
- ・ 多目的ホールなどの貸出

●福祉・保健に関する相談や支援(地域包括支援センター)

介護保険をはじめ、福祉・保健に関する相談を専門員が無料で受けています。

自分自身や家族のことで不安なことがあれば、お気軽にご相談ください。歩行に不安がある場合などは、訪問相談もできますので、あらかじめお電話ください。

※お住いのエリアを担当するケアプラザは72ページをご覧ください。



1 南区の様子

人口統計データ、区民アンケート(令和元年5～6月実施)・関係者アンケート(令和元年6月実施)※、関係機関ヒアリング(令和元年8～12月実施)などの結果に基づき、南区の様子をまとめました。

(1) 地理的特徴

地形

大岡川・中村川沿いの低地エリアとその周囲を囲むように形成された丘陵エリアから成ります。

交通

- 主な幹線道路は低地エリアに通っています。
- 鉄道は市営地下鉄ブルーライン、京浜急行が通っており、横浜駅のほか周辺都市へのアクセスが良い地域です。丘陵エリアにもバス路線が通っていますが、一部の丘陵エリアでは自宅から交通機関までの高低差が大きく、外出や買い物などが不便な地域もあります。



福ちゃん

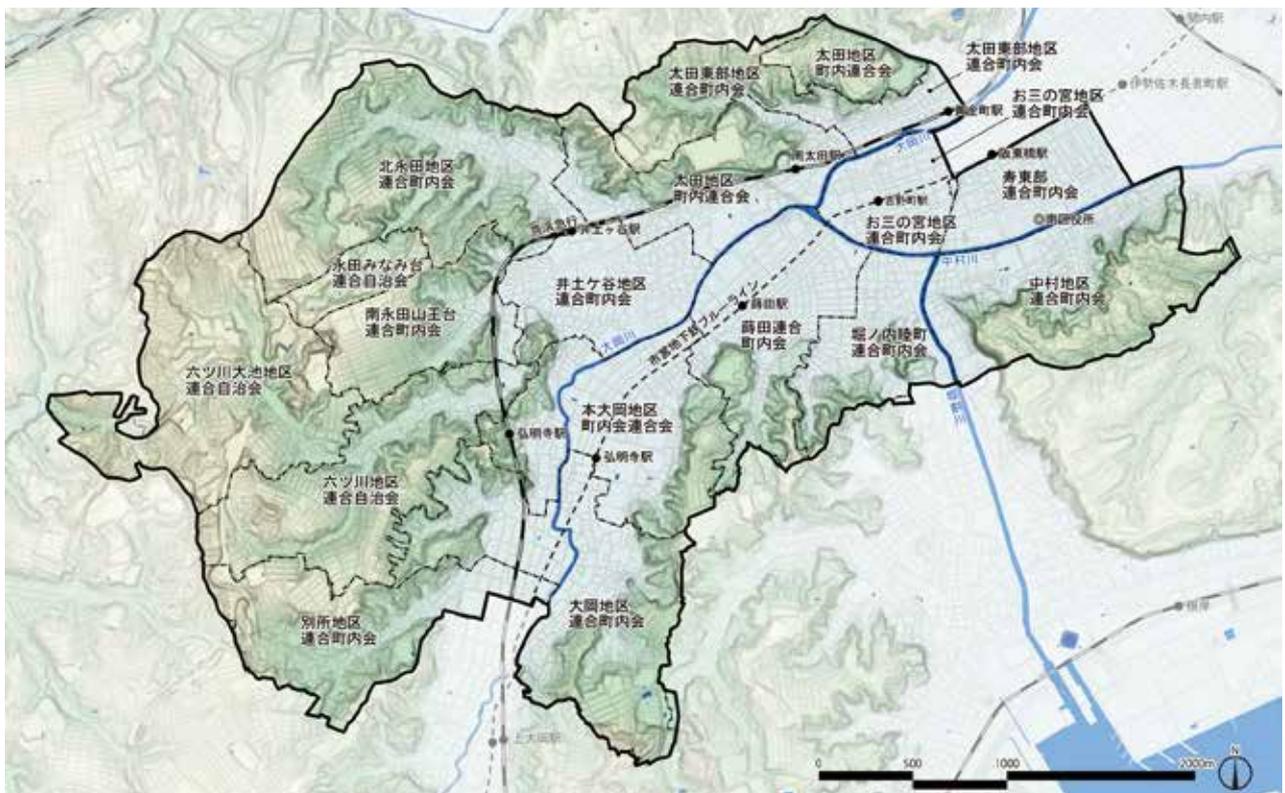
南区には7つの丘があるんだね

坂道が多く、
買物に苦労する人も
いるんだ



トモエ

● 地形図・連合町内会区域図



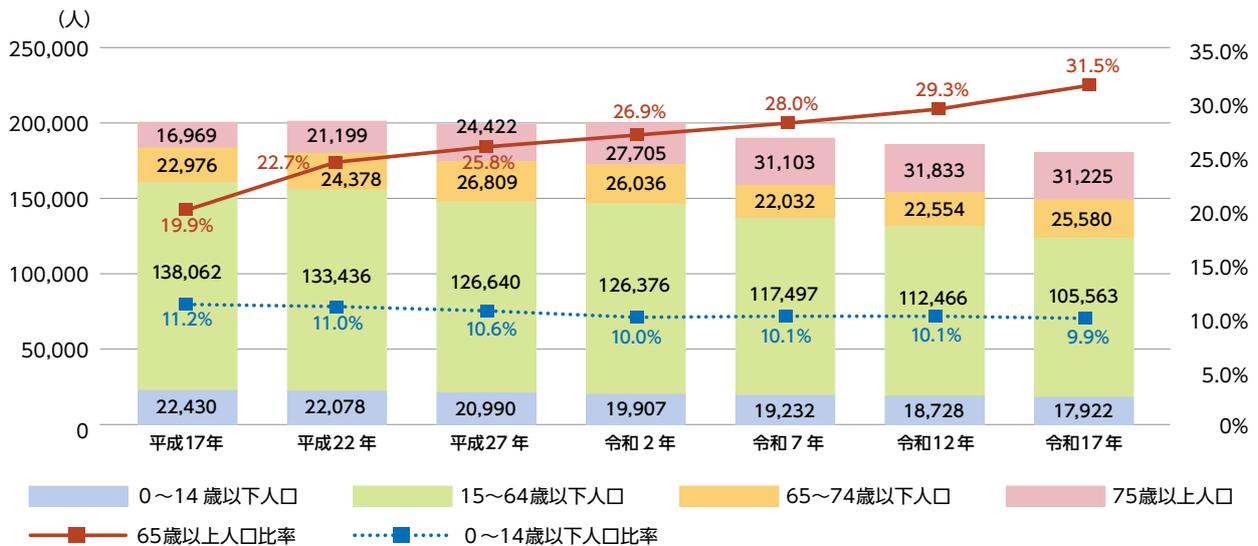
※区民アンケート・関係者アンケートの詳細については、こちらをご参照ください。 [南区 地福アンケート](#)

(2) 区民の様子

人口

- 人口は、200,024人(令和2年3月末時点)です。ほぼ横ばいで推移していますが、令和元年から令和21年の20年間に、10.26%の人口減少が予測がされています。
- 年少人口(0~14歳以下人口)及び生産年齢人口(15~64歳以下人口)は減少傾向が顕著です。一方、老年人口(65歳以上人口)は増加傾向を示し、高齢化率は令和17年に30%を超えることが予測されています。

● 南区の人口変化



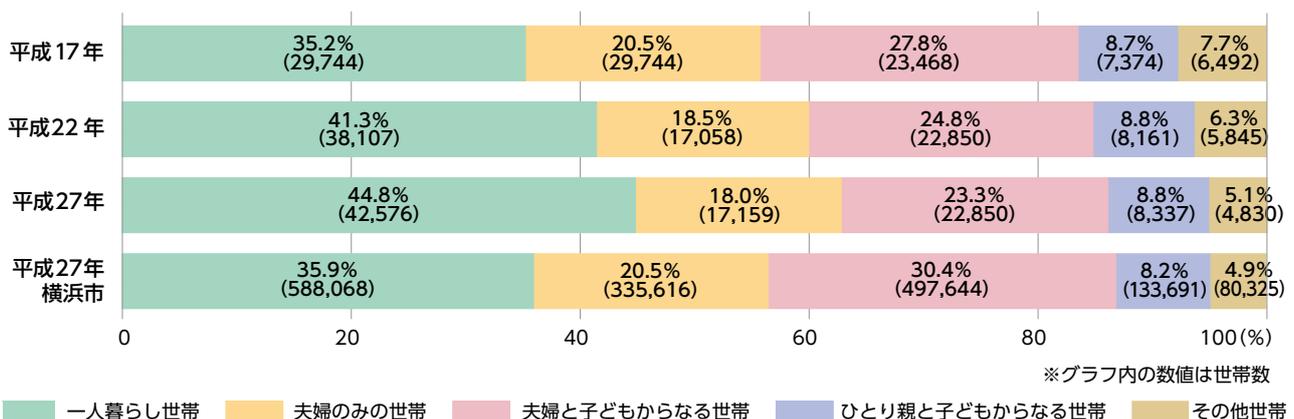
(出典:令和2年まで:横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)、令和7年以降:横浜市将来人口推計)

世帯

- 令和2年9月時点では、世帯人数は平均1.94人です。
- 平成27年国勢調査では、単独世帯数は42,576世帯で、世帯総数の44.8%に達しており、横浜市の平均を大きく上回っています。また、ひとり親と子どもからなる世帯の割合についても、横浜市の平均を上回っています。



● 世帯状況(南区と横浜市の対比)



(出典:横浜市統計ポータルサイト(国勢調査))

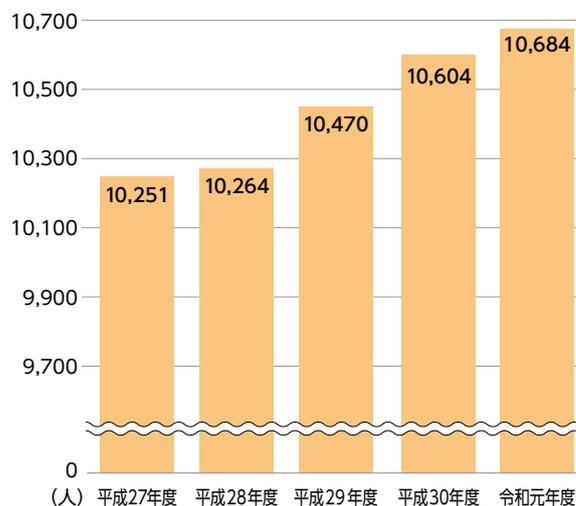
子ども

令和元年度の出生数は1,236人です。年度により多少の差はありますが、ここ数年はおおよそ1,300人前後で推移しています。

高齢者

- 高齢者は全体的に増加しており、高齢化率は26.9%(令和2年3月末現在)となっています。なかでも、75歳以上の後期高齢者人口が増加しており、要介護認定者数も増えています。今後ますます、介護予防活動や見守り・支え合い活動のニーズが高まることが予想されます。
- 定年後も様々な形態で就労する高齢者が増えています。
- 高齢者等の疾患や生活上の相談は、問題が深刻になってから、ケアプラザ等の相談機関につながるケースが多いことが、関係者ヒアリングから分かりました。

● 要介護認定者数



(出典:統計で知るみなみ(南区統計概要))

障害者

- 令和元年度の障害者手帳(身体・知的・精神障害)の所持者は、11,104人です。近年、少しずつ増加傾向にあります。
- 障害のある住民は、就労等を通じて社会参加をしていますが、定年後に参加できる場がなく、自宅に閉じこもりやすい傾向があることが、関係者ヒアリングから分かりました。

● みまっつちコラム 4



障害理解のための普及啓発

南区では、自立支援協議会*1を中心に障害者週間*2を活用した普及啓発に取り組んでいます。これまで障害をテーマとした映画上映会や出演者による講演会、障害福祉作業所の自主製品の展示会を実施しました。



講演会の様子

また、「南区障がい児者団体連絡会」など関係団体と連携し、災害時の避難スペースづくり体験会を行い、障害者がともに地域で生活する人であることへの理解を深めていただく活動をしています。

※1 人と人をつなぎ、地域の課題を地域で共有し、解決に向け地域で協働する場のこと。

※2 国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、平成16年に毎年12月3日から12月9日までの一週間と設定されました。

外国人居住者数

令和2年度末時点で10,937人。年々増加傾向で推移しています。



外国人が増えているね

言葉や生活の違いに、戸惑う人がいるみたいだよ



外国人居住者数



(出典:横浜市統計ポータルサイト各年3月末現在)

災害について

- 地域でできる災害対策として、「家庭での備蓄についての啓発」(60.8%)、「日頃からの顔の見える関係づくり」(60.2%)を大切と考える区民の割合が高いことが区民アンケートの結果でわかりました。
- 「災害時にも安心できる備え」をもっと積極的に取り組むべきと考えている団体が多いことが、関係者アンケートの結果からわかりました。

み+よ+っ+ち+コ+ラ+ム ⑤



小学校における多文化共生の取組

南区の外国人人口は、18区中3番目に多く、区内の公立小学校には外国につながる児童がたくさん通学しています。全児童の半数以上を占める小学校もあり、学校や教育委員会でも国際教室や日本語教室など様々な取組をしています。

南区では、地域のボランティアの方が、外国につながる児童が多い小学校で、外国の言葉や遊び、音楽などを紹介する活動をしています。教科書のお話をその国の言葉で読み聞かせたり、民族楽器で演奏をしたり、休み時間に外国の遊び体験を行ったりと内容はバラエティに富んでいます。授業参観の日などに、保護者の方が一緒に参加する機会もつくっています。子どもたちが、笑ったり、驚いたり、感心したりしながら、新しいことを受け入れ、成長している姿を見ると、大人も思い込みや偏見を捨て、より深く多文化共生を理解することができるのではないのでしょうか。

この取組によって、大人も子どもも、異なる姿や暮らし、考え方をしている人を理解し、受け入れ、共に暮らすことのできる南区を目指しています。



外国人ボランティアによる読み聞かせの様子

健康について

- 自分が健康であると感じている(主観的健康観)区民は、72.1%で、平成26年の77.2%に比べ、約5ポイント低下したことが、区民アンケートからわかりました。

●主観的健康観(区民アンケートの結果、前回調査との比較)



※主観的健康観とは、自分の健康状態に対してどのように感じ評価しているかを図る指標です

- また、国民健康保険加入者向けの健康診断(特定健診)の受診率は、令和元年度は23.2%で、横浜市の25.4%に比べて低い状況です。

みまっちコラム⑥



特定健診とは？

日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病に着目した健診です。

対象者……横浜市国民健康保険加入の40～74歳

費用………**無料**

検査項目…身体計測(身長、体重)、血液検査、血圧測定、尿検査 等

実施機関…お近くの医療機関

南区は市内でも健診受診率が低い状況にありますが、全国的にも新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えが増えていると言われていています。また、自粛による運動不足やストレスから、心身に悪影響を及ぼすことは「健康二次被害」と言われています。ウォーキング等の適度な運動や睡眠、食事のバランスが重要です。

「ウィズコロナ時代」の健康づくりとして、適切な感染対策を取りながら、まずは特定健診を受診しましょう！

2 第3期計画の振り返り

第3期計画で、4つの重点目標ごとに推進した取組内容と成果、課題をまとめました。

重点目標 1

日ごろから声を掛け合い、 つながり・支えあいの関係をつくろう

地域の困りごとを抱えた住民が早期に相談し解決できるよう、住民同士の見守り活動及び、ケアプラザや区役所等の相談機関同士の連携を進めました。

取組内容

◆ 地区別計画

困りごとを抱えた住民が早期に相談できるよう、住民同士の見守りの輪を広げ、ケアプラザ等の相談機関につなげる取組を進めました。

介護保険などの公的サービスでは対応できない生活支援(植栽の剪定、草刈り、大掃除など)として、住民同士で支え合う「ちょこっとボランティア活動」が新たに2地区で始まりました。(なお、ちょこっとボランティア活動の担い手として、多くの男性が活躍しています。)

◆ 区全体計画

解決困難な課題を抱える相談者等に対応できるよう、専門相談機関同士の連携を深める連絡会を開催し、早期解決に努めました。

活動の主な成果

- ちょこっとボランティア活動の充実
12団体(平成28年度)⇒14団体(令和元年度)
- 地域子育て支援拠点が横浜子育てパートナーを子育てサロン等に派遣し、育児相談を実施
- 高齢者等定期訪問事業で、民生委員・児童委員、友愛活動員、保健活動推進員などの地域住民による見守り活動の継続実施
- 生活困窮者自立支援会議「セーフティーネット会議」、児童虐待予防ネットワーク会議等の連絡会の実施

第4期計画へ引き継ぐ課題

- 「8050問題」やダブルケア等の複合的な課題を抱える世帯が増えているほか、問題が深刻化してからの相談が多いことを踏まえた住民や支援機関、関係機関等と連携した早期発見・専門機関につなぐ仕組みづくり
- 認知症になったとしても、安心して暮らせるよう地域の見守り体制の充実
- ちょこっとボランティア等の活動を通じた見守り・支え合い活動の充実

誰もが活躍できる機会と身近な参加の場をつくろう

住民同士がつながりをもちイキイキと暮らし続けるため、地域のサロン活動や健康づくり・介護予防に取り組むグループ活動などの活躍・参加の場を増やしました。

取組内容

◆地区別計画

顔の見える関係づくりやつながりを深める「参加の場」として、高齢者・子育てサロン活動等を第2期から推進してきました。現在も区内で多くのサロンが継続的に活動しています。

最近では、高齢者の介護予防グループ「元気づくりステーション」や脳トレウォーキング、就学期の子ども居場所「こども食堂」等の活動も増えました。

また、地域のサロン活動等では、住民自身が講師として趣味や特技を披露したり、「かいご予防サポーター」として、介護予防の啓発等を行うなど、活躍の機会が広がっています。

◆区全体計画

子ども、障害児者、ボランティアの関係団体がネットワークを組み、課題の共有や解決策の検討、協働した取組を企画する連絡会等を実施しました。あわせて、サロン活動等の立上げや安定した運営のため、助成金による支援も行いました。

活動の主な成果

- 高齢者・子育て・多世代サロン等の参加の場を区内16地区で実施
- 子育てネットワーク（「もっとネット会議」）で、保育園、幼稚園、地域子育てサロン等の交流会・研修会を実施
- ボランティアネットワークで、普及啓発イベントの開催
- かいご予防サポーターの全地区での活動とサポーター養成

第4期計画へ引き継ぐ課題

- サロン活動等の課題解決（担い手不足、参加者減少など）と更なる魅力づくり
- 地域活動に対する住民の認知度を高める取組の充実
- 地域活動の更なる魅力づくりのため、活動団体同士のネットワークづくりや活動団体と民間企業、商店街等との連携を強化
- 外国人や障害者等の誰もが地域活動に参加しやすい仕掛けづくり

重点目標 3

日常の情報共有を進め、 災害時にも安心できる備えをしよう

日頃からの顔の見える関係づくりが災害時の安心につながることから、様々な地域の活動や取組について、積極的な情報発信を行いました。

取組内容

◆ 地区別計画

地区活動等について「地区社協だより」を全地区で発行し、情報発信をしました。

災害への備えとして、住民の自助・共助力を高めるような防災訓練、支援を必要とする高齢者や子ども、障害者などが、安心して避難生活が送れるよう、「災害時の食事講座」、「避難所スペース作り」や「障害理解講座」等の講座や訓練を実施しました。

◆ 区全体計画

「南区防災マップ」を発行して、地震や台風への備えについて啓発しました。

計画の趣旨や地域の取組について、「広報よこはま(区版)」、「社協だより」、「ケアプラザ通信」等の広報紙等で紹介しました。

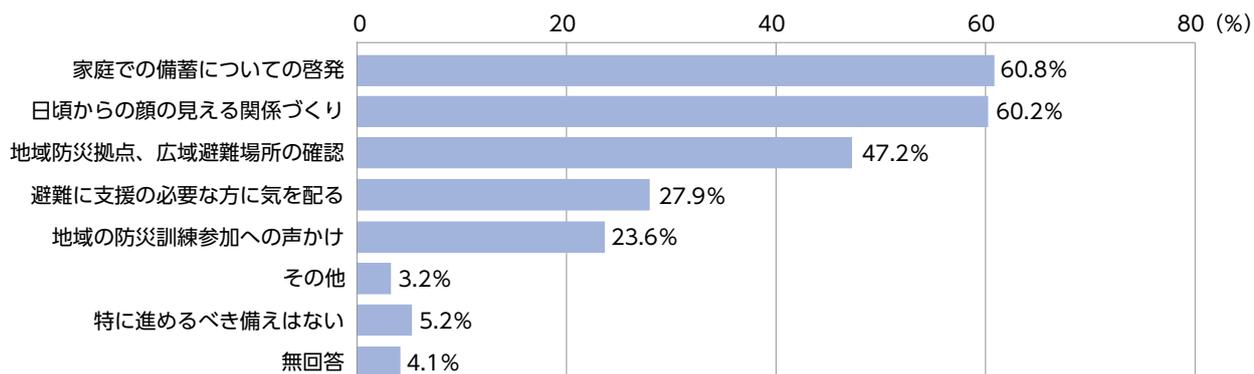
活動の主な成果

- 「地区社協だより」を区内16地区で発行
- 「広報よこはま」、「社協だより」、「ケアプラザ通信」等の広報紙や地域情報紙等に地域活動の記事を掲載
- 障害児者ネットワークで、災害をテーマとしたDVD作成や障害理解講座を実施

第4期計画へ引き継ぐ課題

- 地域への関心を高める継続した広報
- 防災や災害を切り口とした「つながり」づくりの充実
- 災害時要援護者の把握や見守り活動における取組の充実

● ご近所や地域でできる災害への備え(区民アンケートの結果)



(n=1601 複数回答)

身近な活動を通して健康づくりを進めよう

区民の平均自立期間(介護や支援が必要ない期間)を延ばすため、健康づくりと介護予防の取組を進めてきました。

取組内容

◆地区別計画

地域で実施される高齢者サロンにおいて、体操を導入するなどの取組を進めるとともに、元気づくりステーションや脳トレウォーキング等のように「介護予防」をテーマに取り組んでいるグループ活動を増やしてきました。

◆区全体計画

保健活動推進員によるウォーキングやヘルスマイトによる食育講座などを、地域の子育てサロンや多世代サロン等と連携しながら進めました。

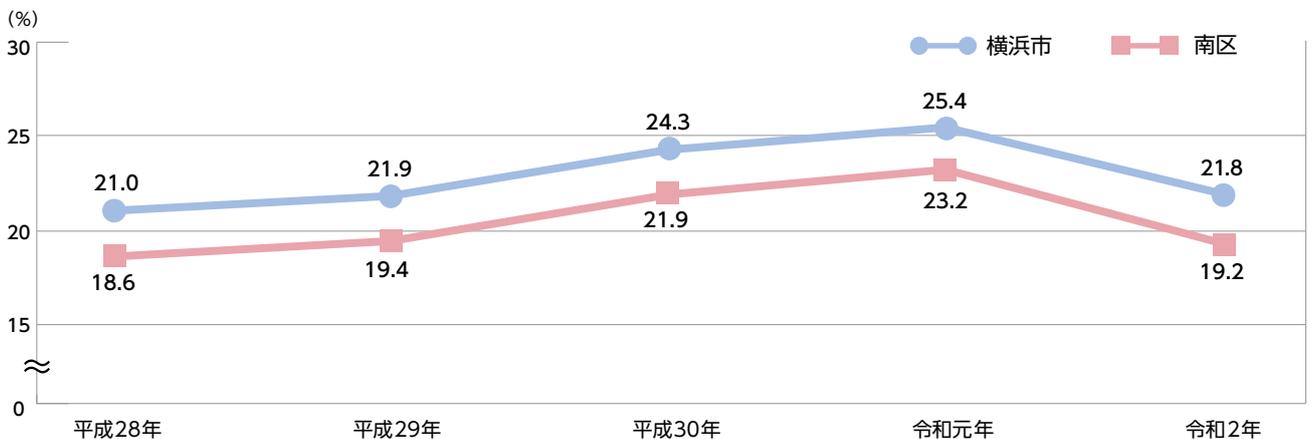
活動の主な成果

- 元気づくりステーション活動数の充実
17団体(平成28年度)⇒19団体(令和元年度)

第4期計画へ引き継ぐ課題

- 主観的健康観を向上させる健康づくり活動の充実
- 健康意識の醸成による、特定健診受診率の向上
- かいご予防サポーターや保健活動推進員、ヘルスマイト等の活躍の場の拡大

●特定健診受診率



(特定健診・特定保健指導実施結果総括表(各年度)より抜粋)

3 第4期計画に向けて

第3期計画から引き継ぐ課題と社会環境の変化をふまえて、第4期計画へ特に引き継ぐべき課題を整理しました。

早期発見と見守りの仕組み

地域に住む高齢者は今後ますます増えていきます。住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域での見守りや支え合い活動がますます重要になります。

また、社会環境の変化に伴い、単身高齢者や経済的困窮に陥りやすい人、^{ハチマルゴーマル}「8050問題」など複合的な課題を抱える人等が増えています。困りごとを抱える人が早期に相談ができ、解決につながる仕組みが必要です。

地域特性に合わせたつながりへの取組

現在活動しているサロン活動等は、第2期計画の中で開始してきた歴史がありますが、開始から約10年が経過し、活動当初とは地域の状況が変化しています。人口構成等の変化(高齢化の進行、ひとり親世帯や外国人の増加など)や生活課題の変化(買物困難な高齢者の増加など)に応じた「つながり」の取組を再検討する必要があります。

また、地域の中には障害のある方も多く住んでいます。住民一人ひとりが分け隔てなく参加・活躍できる仕掛けが必要です。

更なる高齢化と健康づくりへの取組

高齢者になっても、自立した健康的な生活をできる限り長く続けるために、日頃からの健康づくりが重要です。

また、健康を身体だけでとらえがちですが、心の健康も併せて取り組んでいくことが必要です。

区民アンケートでは、「健康ではない」、「どちらかという健康ではない」人は、地域活動に参加していない割合がやや高いという結果が出ていることから、住民や地域とのつながりを深めることで、心にも身体にも着目した健康づくりを進めていく必要があります。



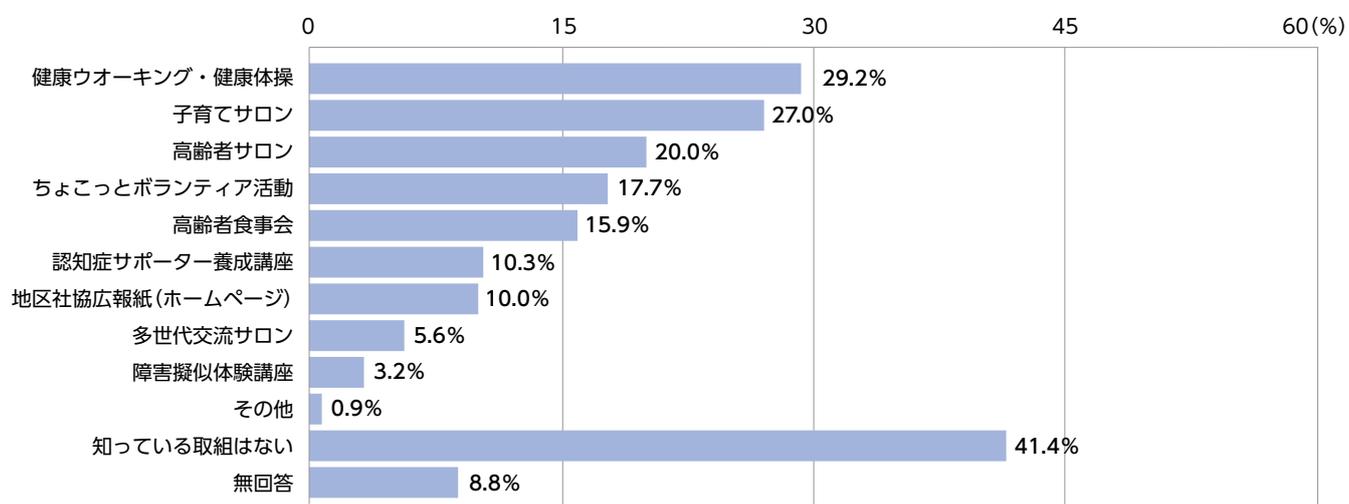
地域への関心を高める取組

関係者アンケートから、「地域活動への関心が薄い、参加者が少ない」といった意見が多く聞かれました。実際に地域住民主催で開催している「子育てサロン」などの参加者が減少傾向にあることから、地域や活動への関心が低下している可能性があります。今後は、区民アンケートで関心が高かった「災害」や「健康」などのテーマを取り上げるなどの工夫が必要です。

また、「地域の活動を知らない」と答えた人も多いため、参加者の年代に合わせた周知方法や活動日時・内容などの工夫が必要です。

あわせて、各地区で行われているサロン活動には、男性の参加者が少ない傾向があります。一方で、ちょこっとボランティア活動等の担い手として、多くの男性が参加していることをヒントに、地域活動への参画を促進する仕掛けや仕組み等を検討する必要があります。

●「第3期南区地域福祉保健計画」の取組で知っているもの(区民アンケートの結果)



(n=1601 複数回答)

地域活動の基盤強化と担い手確保への取組

地域活動の担い手が不足している状況は続いており、喫緊の課題となっています。

新たな担い手の発掘や育成については、現在も地域の活動団体だけでなく、区役所、区社協及びケアプラザ等が取り組んでいます。なかなか成果が上がらない状況です。

時代の変化とともに、定年延長やリモートワークなど働き方が大きく変化してきています。今後は、多くの担い手が活躍しやすい仕組みを検討し、地域団体や関係機関と連携した取組を進めていく必要があります。



(1) 基本理念

第1期計画から「区民の情(こころ)が生きるまち南区」を基本理念としています。第4期計画においても、区民一人ひとりの想いや行動を基本に、これを受け継いでいきます。

区民の情(こころ)が生きるまち 南区

～様々な個性や価値観をもつ住民一人ひとりが人や地域とつながりを持ち、共に支え合い、健康で自分らしく、安心して、笑顔で暮らしているまち～

(2) 4つの目標

第3期計画において進めてきた重点目標を精査し、主に地域で実践していく取組に関わるものを目標1、2、3として整理し、地域を超えた課題に対して住民と区役所、区社協及びケアプラザがともに解決を目指す仕組みづくりとして、目標4を設定しました。

あわせて、それぞれの目標に沿った活動等を積み重ねることで、区民の健康や安心につなげていきます。

健康

笑顔

安心

目標1

孤立しがちな人をお互いさまのまなざしで、見守り・支え合いの活動を広げよう

目標2

様々な個性や世代の住民が参加・活躍できる機会や場づくりを進めよう

目標3

情報を届けることで地域・活動への関心を高めよう

目標4

地域福祉保健の活動の基盤を強くしよう

地域の様々な活動が健康で安心して暮らせる 笑顔あふれる
まちづくりにつながっています

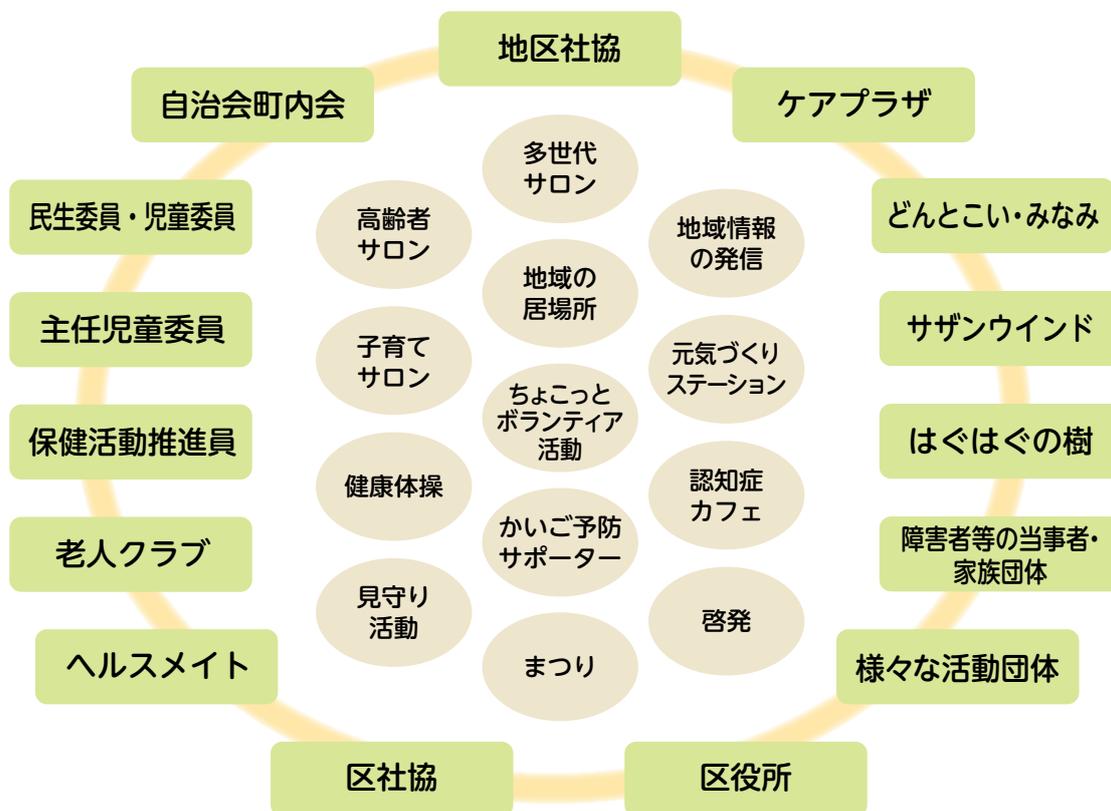
基本理念の実現



〈期待できる効果〉



〈様々な団体等が実施する活動や取組〉



第3章

区全体計画

1 計画の目標と取組の柱

4つの目標

目標①

孤立しがちな人をお互い
さまのまなざしで、見守
り・支え合いの活動を広
げよう

目標②

様々な個性や世代の住民
が参加・活躍できる機会
や場づくりを進めよう

目標③

情報を届けることで地
域・活動への関心を高
めよう

目標④

地域福祉保健の活動の基
盤を強くしよう

5年後のまちの姿

日頃から、身近な地域での緩やかな見守りや支え合いの輪が広がっています

住民一人ひとりが、困りごとを抱えた人に気づき、支援につなげていく取組が進んでいます

身近な地域の中で、年齢や国籍、障害の有無に関係なく様々な立場や背景のある人が、お互いの存在に気づき、つながる機会が広がっています

身近な地域で心や身体の健康づくりに取り組む場や機会が増えています

地域活動や団体が、民間企業、商店街等との連携を深め、魅力ある活動づくりが進んでいます

つながりの大切さや地域への関心が高まっています

住民の特性にあわせた地域情報の発信と必要な情報を届ける仕組みづくりが進んでいます

住民の一人ひとりが持てる力を活かし、地域活動等で活躍できる仕組みづくりが進んでいます

福祉・保健活動に取り組みやすい環境づくりが推進されています

区全体計画は、第4期計画の4つの目標の実現に向けた取組の柱を設け、柱ごとに、区役所、区社協、ケアプラザ等の取組を整理しました。



取組の柱

1-1 住民同士の見守り・支え合いの活動の拡大

20 ページ

1-2 見守り・早期発見の仕組みづくりの構築

2-1 選択できる多様な参加の場の継続と創出

2-2 身近な地域で取り組む健康づくり活動の充実

24 ページ

2-3 連携と協働による活動の拡大

3-1 地域への関心と「つながり」の大切さを届ける
広報活動の推進

28 ページ

3-2 必要な人に必要な情報が届く仕組みの構築

4-1 様々な機関が連携した地域人材の発掘と育成

30 ページ

4-2 地域活動の充実に向けた支援

2 目標を実現するための取組

目標①

孤立しがちな人をお互いさまのまなざしで、 見守り・支え合いの活動を広げよう

- は、「5年後のまち」の姿を具体的に表しています。

1-1 住民同士の見守り・支え合いの活動の拡大

● 様々な見守り活動が拡大しています

- ・ 災害時要援護者支援事業、ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業等を民生委員・児童委員や自治会町内会役員などと協力して推進します。担い手に対して、個人情報や見守りについての研修会等を実施します。(総務課、福祉保健課、高齢・障害支援課)

● 住民同士の支え合い活動が拡大しています

- ・ 生活の中のちょっとした困りごとを住民同士で支え合う「ちょこっとボランティア活動」等を推進します。活動の立ち上げや継続に向けた支援のほか、担い手の技術や知識の習得に向けた研修会等を実施します。(高齢・障害支援課、区社協、ケアプラザ)

● 「集いの場」等の活動を通じて、高齢者、障害者、子どもを温かく見守っています

- ・ 高齢者サロンや食事会、こども食堂や学習支援等の「集いの場」が交流だけでなく参加者同士のゆるやかな「見守り・支え合い」の機会となるよう意識を高める取組を推進します。(区社協)
- ・ 地域の見守り活動の担い手となる人材のコーディネート機能を高めていきます。(区社協、ケアプラザ)

● 見守り活動への相談体制が充実しています

- ・ 活動の中で困ったことが起こった時に気軽に相談できる体制の充実をはかります。(高齢・障害支援課、ケアプラザ)

◆ 区役所以外の相談機関 ～お気軽にご相談ください～ ◆

地域包括支援センター

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）等を配置し、住民の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域の住民を包括的に支援しており、南区ではケアプラザがその役割を担っています。

地域包括支援センターでは、福祉・保健の専門員が無料で相談を受けています。

施設まで来られない人のために、訪問相談も行います。

自分自身や家族のことで心配なことがあればご相談ください。

※お住まいのエリアを担当するケアプラザは72ページをご覧ください。



地域子育て支援拠点 (はぐはぐの樹)

子育て相談、子育て情報の提供、遊び・交流スペースの提供などを行う子育て支援の拠点です。

● 子育て相談 ●

電話

「横浜子育てパートナー」が、じっくりと話をうかがい、様々な悩みごとや困りごと等について、必要な情報や支援機関を紹介します。

専用ダイヤル：721-8686

FAX：715-3815

交流スペース

子育てについての不安や疑問など、気兼ねなくスタッフに相談してください。

所在地：弘明寺町158 カルムI 2階

電話・FAX：715-3728

最寄り駅：市営地下鉄・京浜急行 弘明寺駅

基幹相談支援センター (地域活動ホーム どんとこい・みなみ)

障害のある方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていくために、日常生活や仕事などに関するさまざまな相談ができる総合相談支援機関です。相談対応のほか、地域の方や関係機関などとも連携し、地域づくりに取り組んでいます。



所在地：中村町4-270-3

電話：264-2866

FAX：264-2966

最寄り駅：市営地下鉄阪東橋駅

精神障害者生活支援センター (南区生活支援センターサザンウインド)

地域で生活する精神障害者の社会復帰、自立と社会参加を促進することを目的



としています。精神保健福祉士などによる日常生活相談、日常生活に必要な情報の提供、食事サービス、入浴サービス、洗濯サービスの提供、自主事業(レクリエーション・イベント等)、地域交流活動などを行っています。

所在地：新川町1-1 リーヴェルステージ横浜南2階

電話：251-3991

FAX：251-3991

最寄り駅：市営地下鉄阪東橋駅、吉野町駅

1-2 見守り・早期発見の仕組みづくりの構築

● 困りごとを抱える人に気づく人が増えています

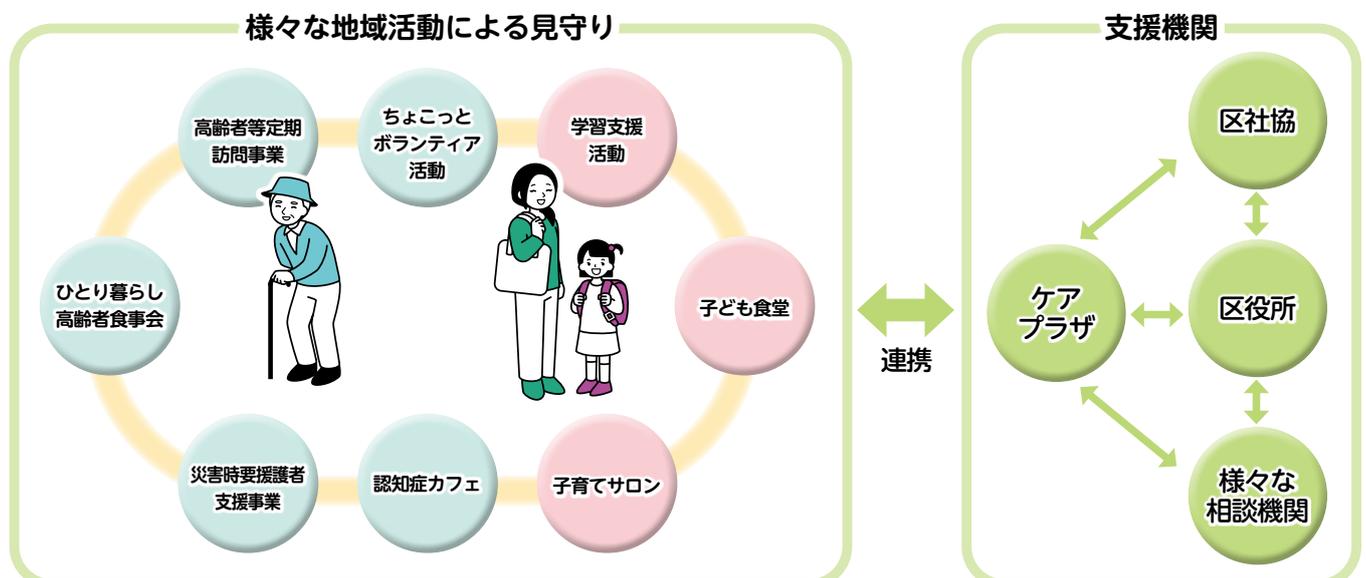
- ・見守りのポイントや身近な相談機関などの啓発を進めます。(福祉保健課、生活支援課)
- ・地域ケア会議等を活用して地元企業や商店等と連携した見守り活動を広げ、身近な地域で気づく人を増やします。(ケアプラザ)

● 困りごとを抱える人に気づいた人が相談しやすい仕組みができています

- ・住民等が、問題を抱え困っている人や孤立しがちな人に気づき、身近な相談機関につなげられるよう啓発などの仕組みづくりを進めます。
(福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課、生活支援課、区社協、ケアプラザ)
- ・高齢者や障害者の権利擁護の意識を高めます。市民後見人等の活動支援を関係機関と連携して行います。(高齢・障害支援課、区社協)

● 福祉保健団体や相談機関等の連携が深まり、困りごとの解決につながっています

- ・児童虐待予防や見守りのため、地域関係者や医療・福祉などの関係団体との連携を深める会議を実施します。(こども家庭支援課)
- ・分野が異なる相談機関同士の連携強化をネットワーク会議等により推進します。
(生活支援課、福祉保健課)
- ・高齢者の見守りについて多様な機関との連携強化に努め、困りごとの解決につなげます。
(高齢・障害支援課、福祉保健課、区社協、ケアプラザ)



み+ゅ+つちコラム⑦



民生委員・児童委員、主任児童委員

民生委員・児童委員、主任児童委員は地区推薦準備会から選出され、厚生労働大臣から委嘱された無報酬の非常勤特別職の地方公務員で任期は3年です。

主にひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の方、障害のある方やそのご家族、生活にお困りの方、子育て家庭・ひとり親家庭や妊産婦の方などの相談・支援を行っています。

日常の見守り活動(定期訪問)や相談内容によっては区役所や地域包括支援センター(ケアプラザ)に引き継ぎ、必要な福祉サービスにつなげます。

● 主な活動内容 ●

- ひとり暮らし高齢者などの相談・支援など
- 高齢者サロン(高齢者が気軽に集まれる交流の場・仲間づくりの場)、食事会など
- 子育てサロン(親子遊びや育児アドバイス、保護者同士の情報交換、友達づくりの場)、子ども食堂、小中学校との連携や通学見守りなど

※南区には266人の民生委員・児童委員が活動しており、そのうち32人が主任児童委員(児童福祉に関する事項を専門的に担当する民生委員・児童委員)です。

(令和3年11月30日現在)

※民生委員・児童委員、主任児童委員には守秘義務があり相談した方の秘密は守られます。

み+ゅ+つちコラム⑧



今書く！すぐ書く！ココで書く！

みんなで書こう 南区版エンディングノート

現在、エンディングノートを始めとした「終活」に対する関心の高まりが見られます。ご自身のことを振り返ることで今後の人生を豊かなものにしてほしいという思いから、南区でも平成29年1月に「南区版エンディングノート」を作成しました。南区版エンディングノートは薄くて手に取りやすく、初めての方でも書き始めやすいことが特徴です。自分自身についての整理を行う際のツールにもなります。エンディングノートは何度でも書き直しが可能です。自分や大切な家族のために、まずは南区版エンディングノートを書いてみませんか？

区役所やケアプラザにて無料でお配りしていますので、ぜひお手に取ってみてください。



目標②

様々な個性や世代の住民が参加・活躍できる 機会や場づくりを進めよう

2-1 選択できる多様な参加の場の継続と創出

●様々な住民の「つながり」の場づくりが進んでいます

- ・地域で行われている様々な活動を主催する自治会町内会、地区社協、活動団体に対して補助金を交付します。(地域振興課、福祉保健課、区社協)
- ・健康や防災をテーマとしたイベントや講座などの開催を支援します。(総務課、福祉保健課、ケアプラザ)
- ・障害者や子どもの居場所を地域住民・関係機関・団体等と連携しながら創出します。(こども家庭支援課、区社協、ケアプラザ)
- ・地域住民が参加・交流することができるサロン活動について、活動の立ち上げや継続等の運営及び担い手向けの研修等の開催を支援します。(区社協、ケアプラザ)

●気軽に地域で活躍できる仕組みが進んでいます

- ・公園愛護会やハマロードサポーターなどの清掃活動で、外国人や障害者などが気軽に参加でき、地域住民とつながる機会を提供します。(土木事務所)
- ・SNSを活用したボランティアニーズや情報等の発信等により、ボランティア活動を身近に感じ、活動するきっかけとなるような取組を行います。(区社協)
- ・地域で活動する人材の発掘と活躍を支援するためのコーディネーター機能を充実します。(福祉保健課、区社協、ケアプラザ)

●住民同士のつながりの場が継続・充実しています

- ・地域で活動する人や関係機関のネットワーク化をはかる機会を増やします。(こども家庭支援課)
- ・地域で活動するボランティア等が、スキルアップできる研修会や交流会を開催します。(ケアプラザ)

みまっちコラム 9



出会いをつなぐ子育てサロン

身近な地域で親子が集まれる「子育てサロン」が開かれています。パパやママ達がおしゃべりをして、パパ友ママ友になれたり、ほっと過ごせる場になっています。毎回、ボランティアさんが温かく迎え、はじめはねんねだった赤ちゃんが、おすわりができるようになり、つかまり立ちやはいはいが出来るようになるなど、子ども達の成長を見守り、一緒に喜んでくれています。お近くの子育てサロンの様子は、34ページ以降の地区別計画をご覧ください。



みまっちコラム 10



地域子育て支援拠点はぐはぐの樹

地域子育て支援拠点はぐはぐの樹は、妊娠期から就学前の子どもと保護者が気軽に立ち寄り、他の利用者との交流や子育て相談などができる施設です。「プレママ会」「0歳児はじめましての会」など初めて利用するきっかけになるプログラムや「シングルママの会」「おしゃべりサロン発達・療育」「外国人のための子育て交流会」など、孤立しがちな子育て家庭同士がつながるための取組を行っています。また、地域ぐるみの子育て支援を目的とした会員制の有償支え合い活動「横浜子育てサポートシステム」にも力を入れています。

はぐはぐの樹は多くのボランティアやサポーターに支えられています。地区センターなど5か所で月2回開催している出張型子育てひろば「おでかけ広場」は、各会場の近隣の方々が設営やおもちゃの消毒を行い、子どもたちを温かく見守っています。そして、絵本好きなはぐはぐの樹利用者有志による「絵本サポーター」は、お勧め絵本コーナーの整備や購入絵本の選書、情報紙の発行などで活躍しています。



2-2 身近な地域で取り組む健康づくり活動の充実

● 身近な地域で健康づくり・介護予防に取り組む場づくりが進んでいます

- ・ 元気づくりステーションや脳トレウォーキング等、身近な地域に介護予防・健康づくりの場を提供します。(高齢・障害支援課、ケアプラザ)

● 健康づくりや介護予防に関する知識や技術を伝達する人が活躍しています

- ・ かいご予防サポーターによる介護予防の普及啓発を推進します。(高齢・障害支援課)
- ・ 健康づくり推進活動団体(保健活動推進員、ヘルスマイトなど)と連携した健康講座や体操教室等の地域の健康づくり活動を進めます。(福祉保健課、ケアプラザ)

● 健康づくりに関する普及啓発が行われています

- ・ 地域住民が健康づくりに取組めるよう、運動、食事、睡眠などの生活習慣の啓発を高齢者サロンや子育てサロン等で行います。(福祉保健課)
- ・ ケアプラザ協力医等によるコラムを広報に掲載することなどにより、「健康づくり」についての意識を高めていきます。(ケアプラザ)

元気づくり
ステーション

脳トレ
ウォーキング

かいご予防
サポーター

健康体操教室

健康講座

● みまっつちコラム 11

元気づくりステーションで 仲間と一緒に 楽しく介護予防！

元気づくりステーションとは、高齢者等が歩いていける身近な場所で、仲間と一緒に介護予防に取り組む自主的なグループです。令和3年10月現在、南区には19のグループがあります。身近な公園での脳トレウォーキングやケアプラザ、町内会館での介護予防体操など、参加者同士が和気あいあいと楽しく取り組んでいます。基本的にどなたでも参加可能で、おおむね週1回から月2回ほど活動しています。

介護予防は一人で取り組むよりも仲間と一緒に取り組むことで要介護や認知症のリスクがより低くなると言われています。いつまでもイキイキと健康的に暮らすために、身近な地域で介護予防に取り組んでみませんか？



下の前げんき会



清水ヶ丘第二町内会 ダンベル体操教室

2-3 連携と協働による活動の拡大

●民間企業、商店街などとの連携を深めています

- ・民間企業や商店街等と課題を共有できる場を創出し、地域活動のネットワークを広げていきます。(ケアプラザ)
- ・地域、商店街や福祉団体と連携して、子育て支援を進めていきます。(こども家庭支援課)

●民間企業が地域貢献をしやすい仕組みができています

- ・民間企業や商店街に働きかけを行い、地域貢献活動への取組のきっかけづくりを行います。(区社協)

● みまっつちコラム 12



子どもたちの居場所づくり

子どもたちが、ごはんを食べたり、遊んだり、勉強したり、安心して過ごせる居場所が区内にはたくさんあります。

ごはんをみんなで一緒に食べるこども食堂、勉強を教えてもらう学習の場、自由に遊んだりできるフリースペース、絵を描いたり工作をするアトリエなど、いろいろなアイデアを運営団体のみなさんが企画されています。

新型コロナウイルス感染症対策のため、こども食堂やふれあいの活動が制限されている状況ではありますが、フードパントリー※など新しい取組を始めた団体もあり、子育て家庭が安心して過ごせるよう活動を続けています。

●南区子どもの居場所マップ



※活動場所などの予め決まった場所で、子どもや親子等へ食品等をお渡しする活動

目標③

情報を届けることで地域・活動への関心を高めよう

3-1 地域への関心と「つながり」の大切さを届ける広報活動の推進

●「つながり」づくりを進める広報活動が広がっています

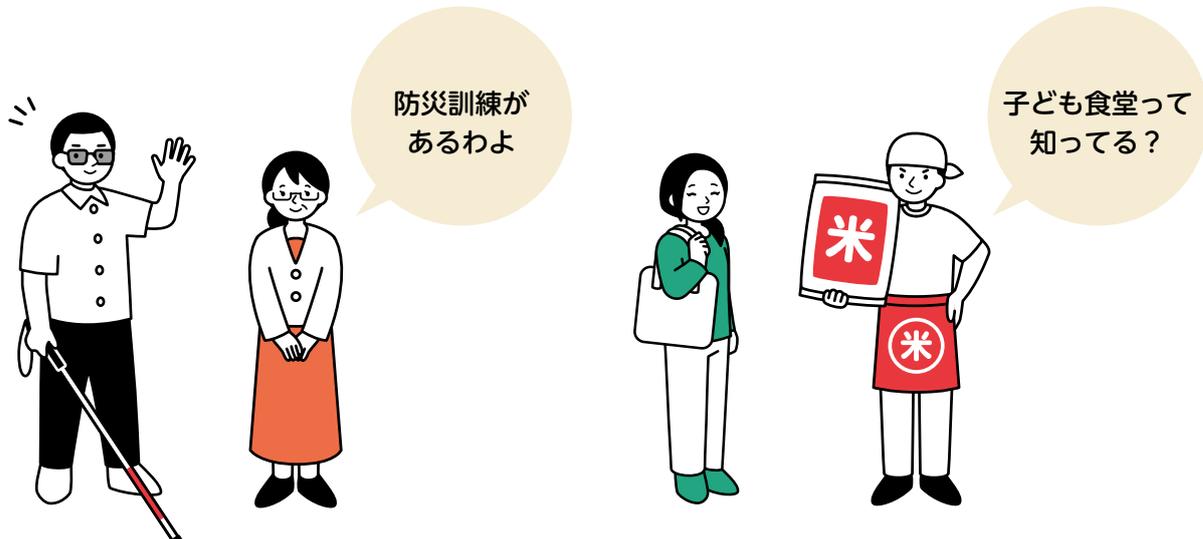
- ・地域活動への参加や「つながる」ことの効果等について、広く周知します。(福祉保健課、区社協)
- ・様々な地域住民が地域の活動や行事に関心を持ち、参加できるよう、広報よこはまや地域情報紙等への記事掲載を通じて、地域活動の周知を行います。ユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりを実施します。(区政推進課、地域振興課)

●防災活動を通じ「つながり」づくりが進んでいます

- ・南区防災ガイドや防災マップを活用し、ご近所講座や防災出前塾を通じて災害時の共助の取組を推進します。(総務課)

●住民の欲しい情報が受け取りやすい環境づくりが進んでいます

- ・「福祉保健活動拠点」の周知を行い、福祉やボランティア活動への関心を高める取組を推進します。また、福祉保健活動拠点を利用する「外国人支援団体」や「自助グループ」等のPR活動等の支援を行います。(区社協)
- ・地域活動に親しみを感じ関心が持てるような広報紙の充実を図ります。(ケアプラザ)



3-2 必要な人に必要な情報が届く仕組みの構築

●対象者に合わせた情報発信が工夫されています

- ・紙媒体とあわせて、ホームページ等の電子媒体による情報発信を進め、より多くの住民に地域情報を届けます。(地域振興課、区社協、ケアプラザ)

●情報弱者になりやすい人へ災害情報などが届くように工夫されています

- ・発信された情報を受け取ることが難しい、いわゆる「情報弱者」や地域との関わりが薄い方等へ必要な情報が届くよう、様々な伝達方法を検討します。(区社協、ケアプラザ)
- ・外国人の転入者向け冊子(多言語版)を配付します。(戸籍課)
- ・ユニバーサルデザインに配慮した広報よこはま等の紙面づくりを実施します。(区政推進課)

● みなつちコラム 13



新しい活動スタイル支援

自治会町内会をはじめとした地域で活動されている皆様が、新しい生活様式の中で活動を継続できるよう、南区役所では、「ICTを活用したコミュニケーション」体験など、新しい活動スタイルを取り入れる支援をしています。

こうした機会を通じ、実際に地域の活動にICTを活用した取組も始まっています。

人と人の接触を極力避けなければいけない、という新型コロナウイルス感染症の感染対策から始まったものですが、例えば会議や打ち合わせに取り入れることで、自身の都合に合わせた参加が可能となり、現在活動されている方の負担を軽減できるとともに、「参加者の拡大」や「若い世代からの参加」が期待できます。

体験の様子



太田地区社協

活用事例



六ツ川地区懇談会

目標④

地域福祉保健の活動の基盤を強くしよう

4-1 様々な機関が連携した地域人材の発掘と育成

●新しい担い手の発掘と活動しやすい環境づくりが進んでいます

- ・ かいご予防サポーター、認知症キャラバンメイトなど地域で活動するボランティアを育成します。(高齢・障害支援課、ケアプラザ)
- ・ 地域で活動する人材の発掘と育成をするためのコーディネート機能を高めます。(区社協、ケアプラザ)
- ・ 地域活動やボランティアに関心がある住民が地域で活躍できるような仕組みづくりを行います。(区社協、ケアプラザ)

●福祉や保健、住民の多様性などの理解を深める機会が増えています

- ・ 障害のある人となない人がともに暮らしやすい地域づくりを進めるため、障害への理解を深める啓発を行います。(高齢・障害支援課)
- ・ 福祉教育の一環として、「障害者・高齢者疑似体験講座」や「福祉用具の体験講座」等を開催し、「福祉」への理解と啓発を行います。(区社協、ケアプラザ)
- ・ 「認知症サポーター養成講座」の開催を通して「認知症」への理解を図ります。(ケアプラザ)

みまよっちコラム⑭



かいご予防サポーターの活動が17年目を迎えました！

かいご予防サポーターは、お元気で21健診の運営や介護予防の取組・必要性などを地域や周囲の方へ伝えていく活動を行う南区独自のボランティアです。

平成17年度から募集を始め、現在では120名を超える仲間がいます。

より多くの方に受診していただけるよう、周知方法や会場の工夫を重ね、地域住民の介護予防のきっかけづくり・振り返りの機会になればと取組を続けています。さらには出前講座や介護予防グループへの支援等、様々な取組を行い、コロナ禍でも感染症対策を行いながら介護予防の輪が地域に広がっています。



お元気で21健診 問診の様子

4-2 地域活動の充実に向けた支援

●福祉保健活動等への支援が充実しています

- ・課題解決にむけて区域ではネットワーク化をはかり、地域では地域支援チームによる支援を行います。(福祉保健課、地域振興課)

●地域活動が展開しやすい環境が整っています

- ・地域活動団体への補助金の交付を行います。(地域振興課、福祉保健課、区社協)
- ・地域住民が気軽にケアプラザや福祉保健活動拠点を利用することで福祉・保健活動への理解が進むよう、多様な住民が交流できるように支援します。(ケアプラザ・区社協)

●地域活動が活性化するような仕組みづくりが進んでいます

- ・南区文化祭などによる活動発表の機会を提供し、活動の活性化を行います。(地域振興課)
- ・最新の人口データ等の提供により計画推進を支援します。(区政推進課)

●福祉保健行動に自らすすんで取り組む風土が醸成されています

- ・様々な福祉や健康に関する地域情報などを発信します。(福祉保健課)

●安全な運営ができる環境が整っています

- ・衛生講習会等で感染症や生活習慣病の予防と啓発を行います。(生活衛生課)

● みなっちコラム 15



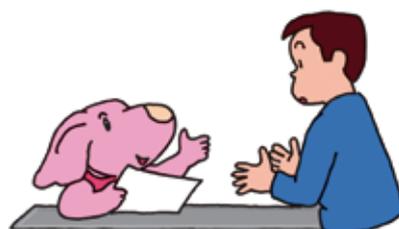
ボランティアセンター

ボランティアセンターは、ボランティアしたい人と、してほしい人を「つなぐ」、区社協内に設置されている南区内のボランティア活動の相談窓口です。

ボランティアに興味のある人に対しては、活動への理解を深めるための講座や、ボランティア活動中の事故などを補償する「ボランティア保険」の受付も行っています。自分にあった活動や充実したボランティア活動を行えるように、また信頼しあえるボランティアに出会えるように、皆さんのお手伝いをしています。

他にも、区民の皆さまからの寄付金や物品を受領し、地域福祉を推進する団体へ配分する「善意銀行」を運営しています。

ご寄付いただいた金品は、区内のボランティア団体や障害者団体等へ配分し、活動を支援しています。



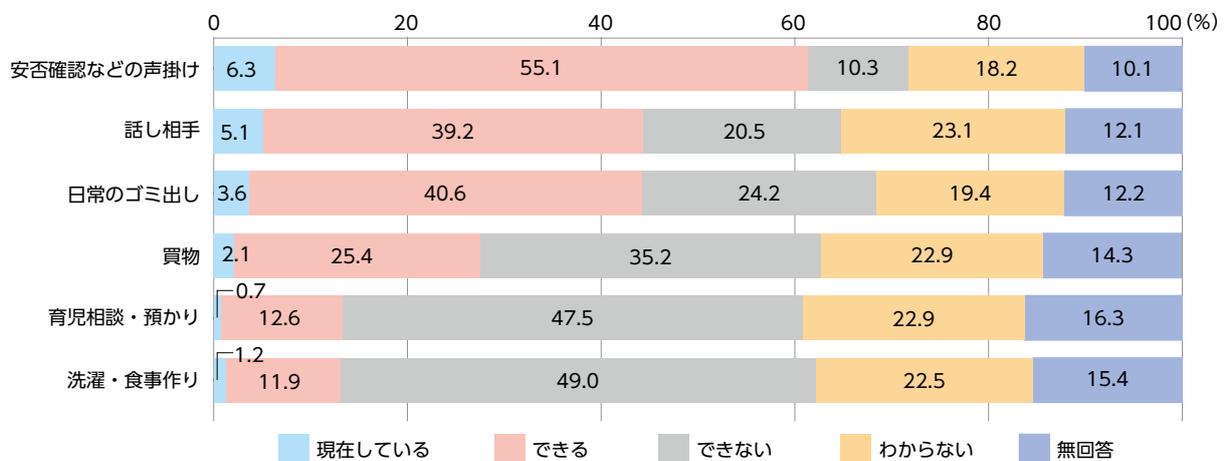


地域活動や個別支援の担い手は、「誰でも、短時間で、気軽に」がカギ!?

「支援が必要な人がいた場合にあなたができること」について、区民アンケートでうかがったところ、「安否確認などの声かけ」が6割以上と最も高く、次いで「話し相手」、「日常のゴミ出しの手伝い」の順に高い結果でした。* 対して「育児相談・預かり」や「洗濯・食事作り」など技術や知識、経験が必要な支援については、「できない」と回答した人が多くいました。

「誰でも、短時間で、気軽に」できることが、地域活動や個別支援の担い手探しのコツかもしれません。

● 支援が必要な人がいた場合にできること(区民アンケートの結果)



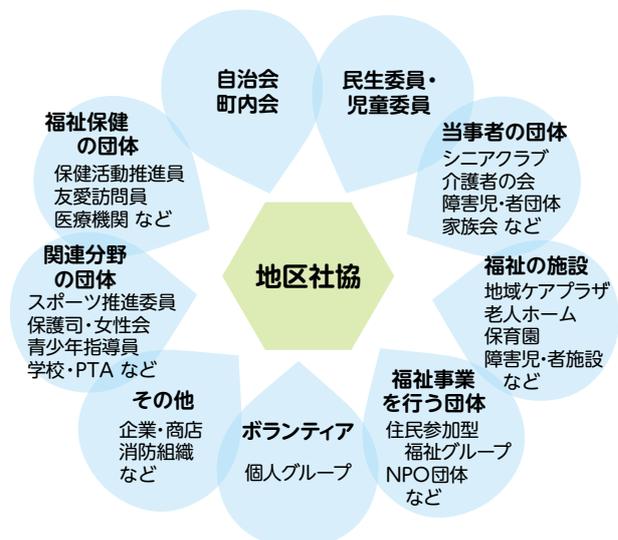
*「できる」は「現在している」と「できる」と回答した人を合わせた割合です。(n=1601 複数回答)



地区社会福祉協議会

地区社会福祉協議会は、自治会・町内会、民生委員・児童委員などの地域活動団体や、ボランティア、障害者団体や地元の施設といった地域に根付いた活動を行っている様々な団体で構成されるネットワーク組織です。

このネットワーク(様々なつながり)を活かし、「住民一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを進めるのが、地区社協の目的です。区社協やケアプラザと地区社協が連携・協働し、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指しています。



(出典:横浜市社会福祉協議会発行「地区社協のてびき」)

第4章

地区別計画

地区別計画は、区計画と「基本理念と目標」を共有するとともに、区内16地区ごとの状況や課題に合わせた目標を設定し、人材や資源を活かした支え合いの取組としてまとめています。

1 地区別計画のエリア

- ①お三の宮地区
- ②太田地区
- ③太田東部地区
- ④寿東部地区
- ⑤中村地区
- ⑥蒔田地区
- ⑦堀ノ内睦町地区
- ⑧井土ヶ谷地区
- ⑨南永田山王台地区
- ⑩北永田地区
- ⑪永田みなみ台地区
- ⑫六ツ川地区
- ⑬六ツ川大池地区
- ⑭本大岡地区
- ⑮大岡地区
- ⑯別所地区



2 地区別計画の策定までの流れ

区内16の地区社協が中心となり、策定プロジェクト会議(事務局会議)を3回程度実施し、「目指すまちの姿」に向かって、スローガンや取組目標などを検討しました。

令和2年10~11月
地区別計画
プロジェクト会議

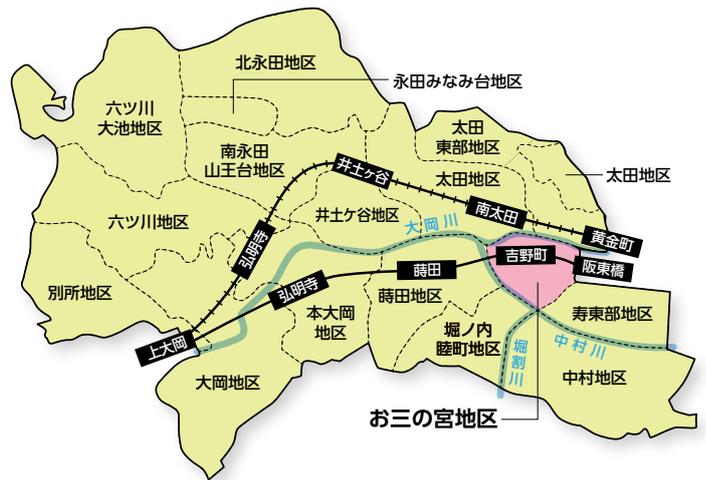
令和3年7月~9月
地区別計画
プロジェクト
事務局会議(2回)

令和3年11月~12月
素案に対する
意見募集

令和4年3月
意見を反映した
計画が確定

お三の宮地区

日枝町1～5丁目 南吉野町 山王町 新川町
二葉町 高砂町1～3丁目 吉野町



第4期計画推進のスローガン

「支え合い・つながり」あふれるまちづくり

第4期計画推進の取組目標

住民同士の交流から、助け合いが生まれるまちをつくろう

多世代交流事業や子育てサロンや高齢者サロン、食事会等を通じて、顔の見える関係づくりを進めます。

各世代が健康でいきいきと暮らせるまちをつくろう

お三の宮健康体操、ウォーキング、健康測定会等を通じて健康づくりに取り組んでいきます。

地域の情報や活動が伝わるまちをつくろう

地区社協だよりを発行し全戸配布するとともに、ホームページを開設し、まちの情報をタイムリーに共有していきます。

誰もが住んでよかったと思えるまちをつくろう

各サロンやクリスマス会の開催、認知症サポーター養成講座や防犯パトロールを通じて、地域を見守っていきます。

まちの様子

- 大岡川と中村川に挟まれた、平坦な埋立地です。
- 地区の中央に鎌倉街道と市営地下鉄が通っており交通の便が良い地区です。
- 市営地下鉄吉野町駅、京浜急行南太田駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- ふれあいスポーツ大会、オセロ大会、グラウンドゴルフ大会などの多世代交流事業を通じて、地域での顔の見える関係づくりに取り組みました。
- 高齢者サロンや子育てサロンを更に周知し、若い世代にも地域活動を知ってもらうため、広報紙や新しく開設したホームページで幅広く発信していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「ひだまり」



ひとあし早いクリスマス会



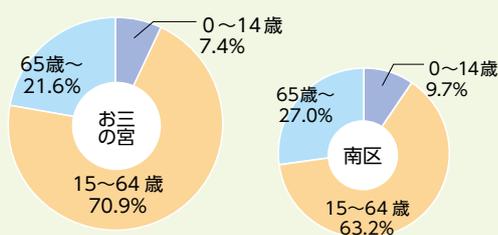
子育てサロン「ほっとmom」



お三の宮健康体操会

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

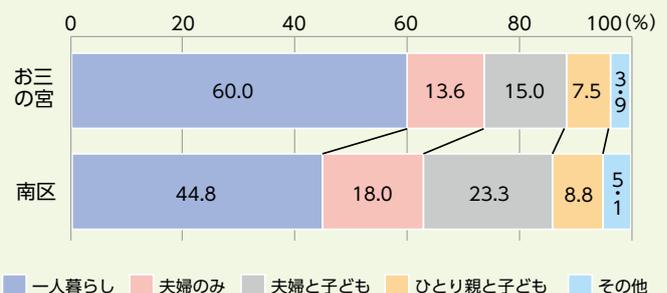
● 年齢3区分別人口割合 ●



お三の宮地区総人口：13,088人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

太田地区

南太田1～4丁目 清水ヶ丘(一部)
三春台(一部) 庚台(一部)



第4期計画推進のスローガン

幸福！満腹！声かけ！太田地区！

第4期計画推進の取組目標

いつでもお互いに
声をかけあえる
優しいまち

日頃からご近所同士の挨拶などを通じて、「たとえ一人でも、独りではない」、気軽に声がかかけあえるまちを目指します。

誰もが気軽に
交流できるまち

地域の高齢者や子育てサロン(居場所)、ウォーキングなどの健康づくり活動を通じて、少人数で気軽に交流できる取組を行っていきます。

日頃からみんなに
わかりやすい
情報が届く、安心・
安全なまち

地区の活動や災害時等の最新の情報が、多くの世代に届けられるよう、発信の方法を検討していきます。災害時や緊急時における情報伝達の仕組みを考えていきます。

まちの様子

- 南側は平戸桜木道路沿いの平地、北側は清水ヶ丘公園、三春台の丘陵地から形成された地形です。
- 平戸桜木道路沿いにスーパーなどの店舗が多くあります。
- 京浜急行黄金町駅、南太田駅や井土ヶ谷駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 防災や防犯の情報を中心とした広報紙を発行しました。住民の意識向上や自助力を高めました。
- ご近所同士で声を掛け合うなど、身近な地域での見守り合いを進めていきます。
- 様々な形で住民同士の交流の機会を作り、地域への関心を高めたり、活動者の発掘に取り組んでいきます。
- 発災時などの緊急を要する際に、住民に必要な正しい情報が提供できる仕組みを検討していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「いこいサロン」



子育てサロン「ブーブーくらぶ」



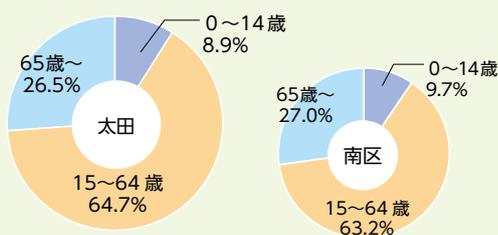
みんなの健康づくり事業



地区社協広報委員会

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

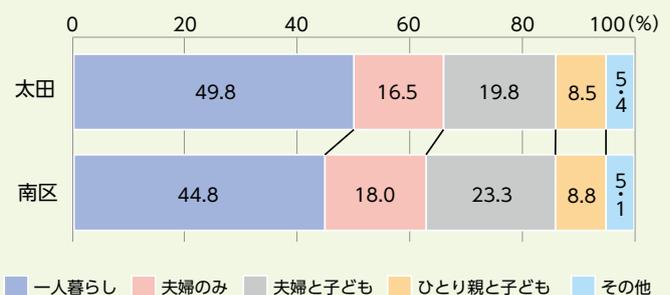
● 年齢3区分別人口割合 ●



太田地区総人口：12,915人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

太田東部地区



白金町1・2丁目 西中町1～4丁目
三春台(一部) 清水ヶ丘(一部)
前里町1～4丁目 庚台(一部) 伏見町

第4期計画推進のスローガン

風通り 笑顔つながる 太田東部

第4期計画推進の取組目標

いつも健康・元気で暮らそう

体操サロンやまち歩きなど、継続した活動の機会を持つことで、身体だけでなく心の健康づくりに取り組んでいきます。

お互いさまで支えあおう

子ども・高齢者・障害者など、誰もが困ったときに気軽に声をかけあえるように、支えあいを進めていきます。

みんなで参加し、楽しく交流しよう

世代や国籍、町内会などの枠にとらわれず、地域すべての住民・団体等が参加し、笑顔で交流できるきっかけを作ります。

まちの様子

- 南側は平戸桜木道路沿いの平地、北側は清水ヶ丘、庚台の高台を含む丘陵地から形成された地形です。
- 平戸桜木道路沿いにスーパーや各種店舗が多くあり、区内最大規模の清水ヶ丘公園が立地しています。
- 京浜急行黄金町駅や南太田駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 新たに高齢者サロンや子どもたちの学習支援の機会など集いの場を立ち上げ、交流を深めました。
- 住民同士の交流がさらに深められるよう、身近な地域で気軽に集える場づくりを検討していきます。
- 防災やラジオ体操など、住民の関心が高そうなテーマを取り入れた取組を検討し、顔の見える関係づくりを進めていきます。

地域活動の様子



高齢者研修会



高齢者の居場所「ひよっこり茶屋」



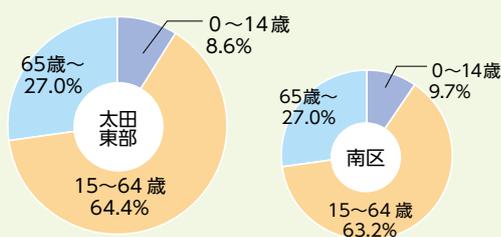
子育てサロン「ぱんだ」



地区社協広報紙「心ふれあい」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

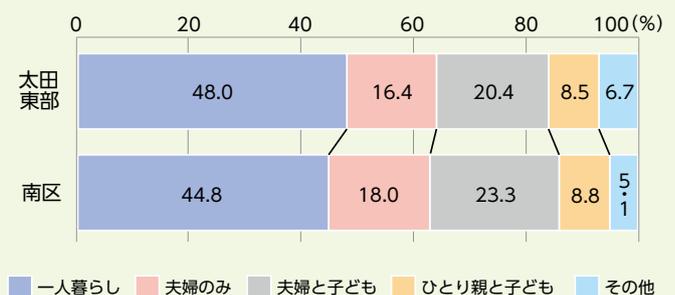
● 年齢3区分別人口割合 ●



太田東部地区総人口：7,985人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

寿東部地区

浦舟町1～5丁目 白妙町1～5丁目
高根町1～4丁目 永楽町1・2丁目
真金町1・2丁目 万世町



第4期計画推進のスローガン

ひとの輪(和)をつなげるまちづくり

第4期計画推進の取組目標

子どもたちが安心して暮らせる まちをつくろう

子育てサロン「サン・サンディ」、子どもを事故から守るパトロールなどを通じて、子どもたちを見守っていきます。

まちの情報を共有し、 寿東部の魅力を伝えていこう

広報誌「えん」を発行、掲示板による周知を通じて、外国籍の人との多文化共生、一体感を感じられる寿東部を目指します。

困った時に支え合える まちをつくろう

災害に備える地域防災拠点訓練、認知症サポーター養成講座の協力等を通じて、支え合えるまちづくりを進めます。

毎日をいきいきと 健康に過ごそう

保健活動推進員による健康体操や健康測定、ウォーキング、お達者塾の開催などにより、健康づくりを進めます。

まちの様子

- 大岡川と中村川に挟まれた平坦な地形です。
- 横浜橋通商店街のほか、区役所や市大センター病院など様々な施設があります。
- 市営地下鉄阪東橋駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 広報誌「えん」を発行し、事業や地域の情報について、周知をはかりました。地域に多く暮らす外国籍の住民にも情報が伝わるよう、多言語の紙面も作成しました。
- 地域の親子がほっとできる子育てサロンの運営を続けるとともに、健康体操やウォーキングを通じて、楽しく健康づくりを進めます。
- 一人暮らしの高齢者や子育て世帯の抱える課題に気づけるような、人に優しいまちづくりをめざします。

地域活動の様子



出張介護教室「お達者塾」



子育てサロン「サン・サンデー」



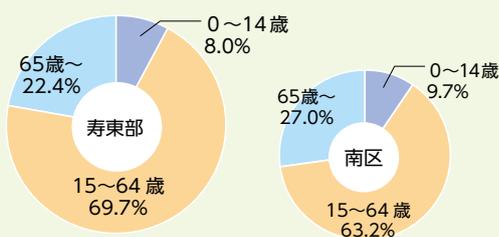
寿東部地区社協広報誌「えん」



南吉田小の認知症サポーター養成講座

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

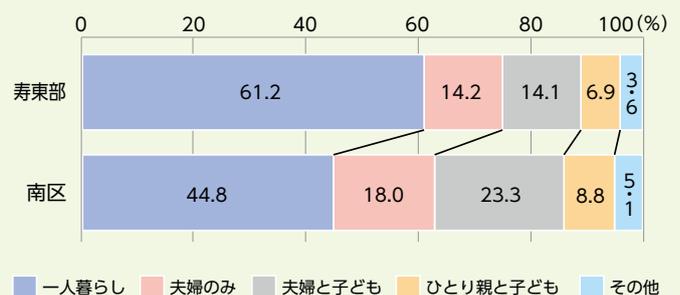
● 年齢3区分別人口割合 ●



寿東部地区総人口：15,028人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

中村地区

中村町1～5丁目 唐沢 山谷 平楽 八幡町



第4期計画推進のスローガン

小さな輪を大きな輪へ ～なかもづくりで育む(HUG組む)ちから～

第4期計画推進の取組目標

孤立しがちな人をお互いさまのまなざしで見守り、支えあえるまち

身近な地域で気軽に声をかけ合えるように、小さな単位でのサロンやイベント等を通じて、お互いの顔の見える関係づくりを進めます。

様々な個性や世代の住民が参加・活躍できるまち

障がいや国籍などの垣根なく、世代間交流や隣近所の交流、町内会や施設などの枠も超えて誰もが参加できる取組を考えていきます。

地域活動の情報が届くまち

まちの魅力を知るとともに、地域活動への参加のきっかけになるよう、広報紙やホームページを活用して情報を発信していきます。

まちの様子

- 中村川から南部に向けて広がる平地部から丘陵部に続く地形です。
- 地区内には福祉関係施設が多くあります。
- 市営地下鉄伊勢佐木長者町駅や阪東橋駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 高齢者が気軽に集える居場所として、新たなサロンも立ち上げ、高齢者同士の交流を図りました。
- 世代間交流を目的とした町内会単位でのお祭りや演芸会を実施し、顔の見える関係づくりが進みました。
- ボッチャなどのパラスポーツ体験をきっかけに、障がい児・者の理解を深める取り組みを検討していきます。
- 高齢者や子育て世代が孤立しないよう、地域全体で見守り合える取組を考えていきます。

地域活動の様子



「南いきいき中村地区の集い」



子育てサロン合同「クリスマス会」



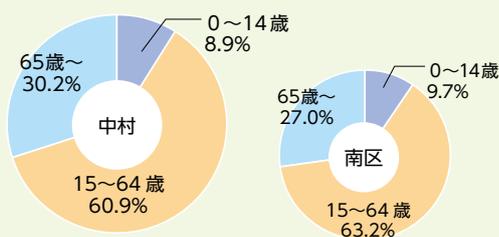
住民交流イベント「七夕フェスタ」



広報紙「みどりとかぜと」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

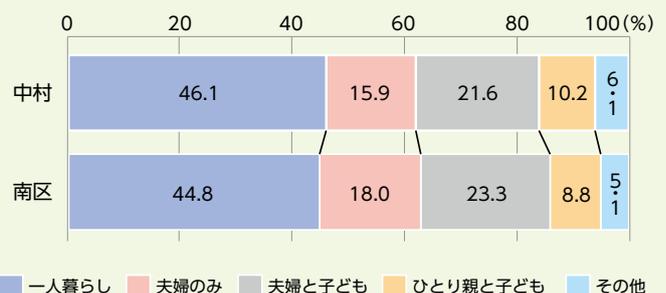
● 年齢3区分別人口割合 ●



中村地区総人口：15,035人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●

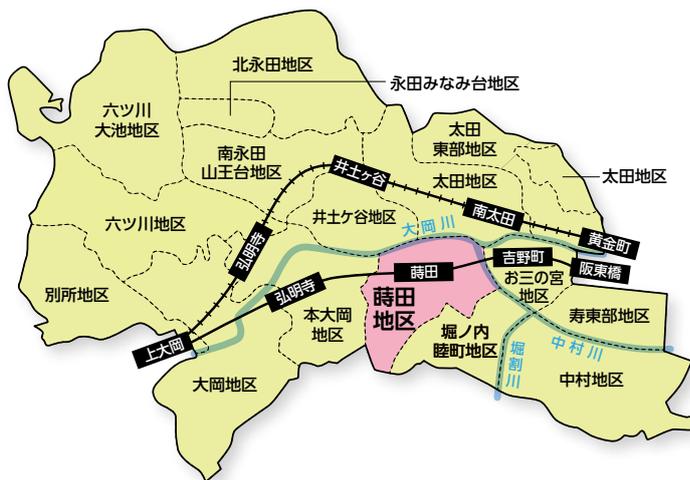


一人暮らし 夫婦のみ 夫婦と子ども ひとり親と子ども その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

蒔田地区

大岡1丁目(一部) 蒔田町(一部) 東蒔田町
榎町1・2丁目 共進町1～3丁目
宿町1～4丁目 花之木町1～3丁目
宮元町1～4丁目



第4期計画推進のスローガン

ぱわ～あっぷまいた！『継続と充実』

第4期計画推進の取組目標

地域活動や福祉保健の情報を住民同士で共有するために

ホームページや広報紙などの様々な媒体を活用し、対象者にあわせた情報を届けられるよう、更に充実した情報発信を行います。

高齢者の孤立や引きこもりの予防のために

サロンや食事会などの人のつながりづくりの場を継続するほか、地域活動や行事への参加が少ない中高年男性の参加者の拡大を図る取組を充実させていきます。

子育て家庭を見守るために

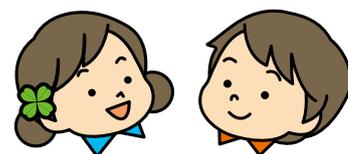
子育て中の親子が楽しめる交流の場を継続していきます。

子どもから高齢者まで交流できる場をつくるために

横のつながりや縦のつながりを大切にし、人と人がつながれる機会を充実させていきます。

障がい児・者が安心して暮らせるために

障がい児・者と地域住民との交流の機会を継続し、誰もが安心して暮らせる街作りを目指していきます。



まちの様子

- 北部は大岡川や鎌倉街道沿いの平地、南部は小高い丘陵地帯と多様な地形が特徴です。
- 蒔田公園や大岡川プロムナードなど憩いの場が多くあります。
- 市営地下鉄蒔田駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 地域の高齢者サロンに障がい当事者が担い手として参加し、スタッフや参加者である住民と交流を図る等、障がい児・者の理解を深める取組に力を入れました。
- 写真をたくさん掲載した広報紙の発行や最新の地域情報を発信するホームページの運営を行い、積極的に情報発信を行いました。さらに世代に合わせた情報発信の工夫も考えていきます。
- 世代を問わず参加できる取組や男性が参加しやすい取組を引き続き検討していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「ふれあいサロン」



子育てサロン「あかいくつ」



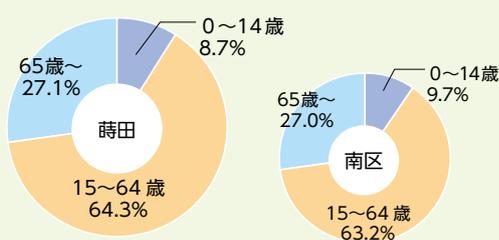
「障がい理解講座」



小学生との交流会「蒔田理科クラブ」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

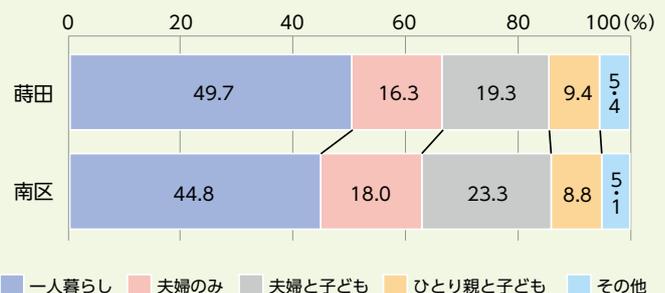
● 年齢3区分別人口割合 ●



蒔田地区総人口：14,212人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

堀ノ内睦町地区

堀ノ内町1・2丁目 蒔田町(一部)
睦町1・2丁目



第4期計画推進のスローガン

暮らし広がれ！堀睦～つながる・みまもる・みんなのまち～

第4期計画推進の取組目標

声をかけあう お互いさまのまちに

- 顔見知りが増え、日頃からあいさつをしあえる関係づくりのきっかけとなるようなサロンやイベント等を通じて取組を充実させていきます。

みんながつながる 笑顔あふれるまちに

- 近隣の社会福祉施設などと連携し、日頃の地域活動や災害時に協力し合える関係を築きます。
- 世代や国籍、障がいの有無などに関わらず、誰しもお互いを理解し、つながりあえる取組を考えていきます。



まちの様子

- 東に堀割川、北に中村川、南に丘陵部が連なる多様な地形が特徴です。
- 戸建て住宅が多いが、平地に小規模な集合住宅も増えています。
- 市営地下鉄吉野町や蒔田駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 住民が趣味で製作した作品を展示するなど、世代間のつながりを意識した取組を行いました。
- 老人クラブや食事会では高齢者同士、子育てサロンでは親同士が定期的に活動で顔を合わせることで、知り合いを増やす機会となりました。
- 住民同士が声をかけやすい、気にし合える地域となるよう、地域全体で取り組める具体的な方法を検討していきます。

地域活動の様子



高齢者食事会



子育てサロン「のびのび」



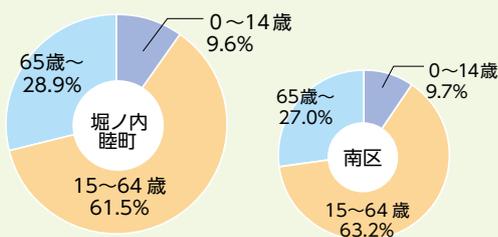
防災フェア



多世代交流イベント「みんなでチャレンジ」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

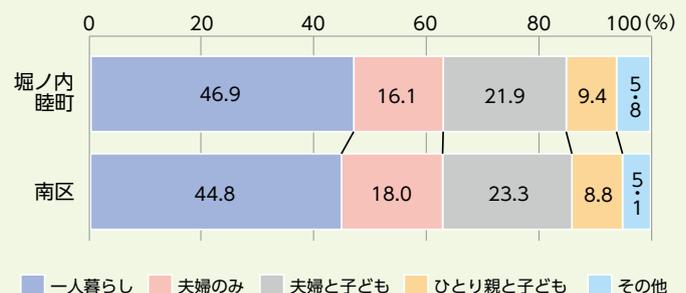
● 年齢3区分別人口割合 ●



堀ノ内睦町地区総人口：6,214人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

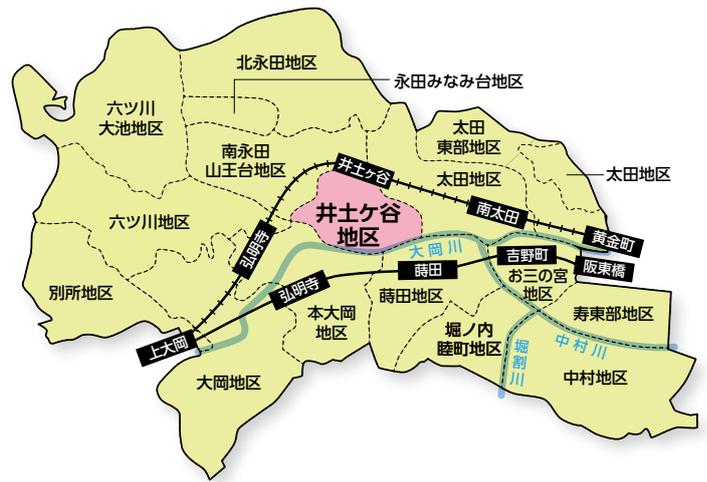
● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

井土ヶ谷地区

井土ヶ谷上町 井土ヶ谷中町 井土ヶ谷下町



第4期計画推進のスローガン

あいさつとふれあいのまち 井土ヶ谷

第4期計画推進の取組目標

「元気？」から
はじまる
思いやりと
ご近助つきあい

ご近所でのあいさつを
きっかけに、互いに気にか
け合えるあたたかいま
ちに向けた活動を広げて
いきます。

誰もが地域に
関心と安心が
持てるまち

必要な情報が行き届
き、誰もが安心して住め
るまちをめざして、日頃
から地域に興味を持てる
取組を考えていきます。

誰もがいきいき
「ほっ」とできる
まち

いつまでも元気に笑顔
輝ける、わたしたちの健
康づくりにつながる活動
に取り組みます。

まちの様子

- 北部は京浜急行線、南は大岡川に挟まれた平坦な地形です。
- 井土ヶ谷駅を中心に商業施設が多いです。
- 京浜急行井土ヶ谷駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 高齢者サロンや食事会、子育てサロンなど既存の活動は、参加者の減少や固定化の課題はありますが、比較的安定した運営ができました。
- ゴミ拾いとウォーキングを一緒に行う活動を立ち上げ、世代を問わず参加でき、ご近所で顔見知りになれる機会を作りました。
- 住民同士が気軽に挨拶のかけあえる関係となれるような具体的な取組を検討していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「幸励」



子育てサロン「豆の木」



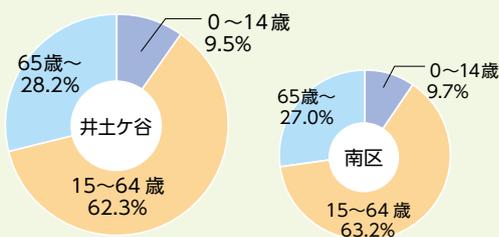
オール井土ヶ谷ふれあいクリーン&ウォーク



南中学校・蒔田中学校の茶道部との交流会

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

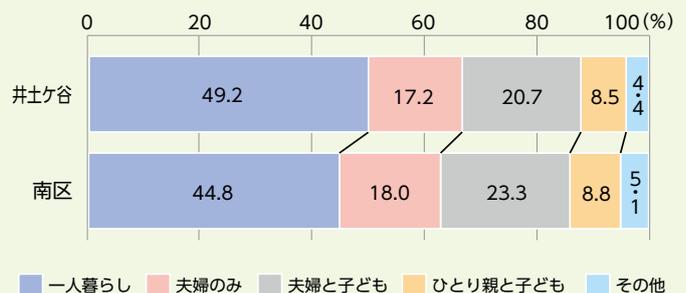
● 年齢3区分別人口割合 ●



井土ヶ谷地区総人口：11,589人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 地区にある「登り窯」を活用した陶芸教室、公園での体操や散歩など、地域の特性を活かした取組を行いました。
- 住民が生きがいを持って健康的に暮らしていけるための具体的な取組を検討していきます。
- 日常的にご近所同士で見守り合う地域を目指し、必要に応じた情報共有や支援機関との連携の仕組みを考えていきます。

地域活動の様子



食事サービス「すみれ会」



子育てサロン「つくしんぼ」



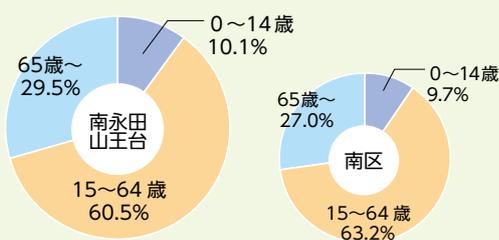
住民交流イベント「ふれあいフェスティバル」



多世代交流イベント「陶芸教室」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

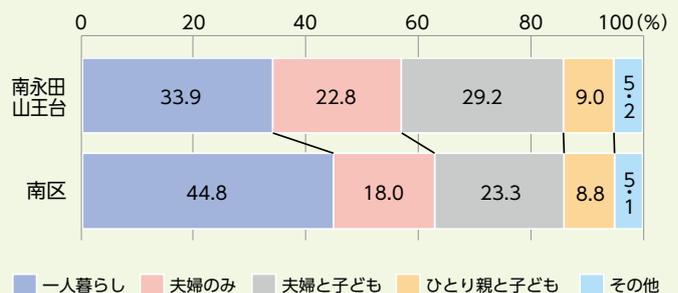
● 年齢3区分別人口割合 ●



南永田山王台地区総人口：8,254人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

北永田地区

永田東1丁目(一部)、2・3丁目
永田南2丁目(一部) 永田北1～3丁目
永田台



第4期計画推進のスローガン

支え合い 助けあう 明るいまち 北永田

第4期計画推進の取組目標

情報が行き届き 地域に関心が 持てるまち

年齢問わず、様々な人に情報が行き届き、それぞれが持つ情報が一方通行にならないような仕組みを検討し、実践します。更に、団体同士での情報交換の場を提供します。

お互いに支え合い 安心して暮らせる まち

災害時の備えや孤立を防ぐために、話をする機会を積極的に作っていくとともに、どの世代も安心して暮らせるための取組について検討します。

みんなが気軽に 活動に参加し 交流できるまち

地域での活動に誰もが気軽に参加できるような工夫を検討するとともに、活動への参加を通して住民同士が交流できるようにします。

まちの様子

- 起伏に富んだ地形に形成された戸建て住宅を中心とする地区です。
- 遊園地道路沿いには、日常の買い物に利用される商店が立地しています。
- 京浜急行井土ヶ谷駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 地区内の小学校と連携し、囲碁将棋や紙飛行機、ボッチャやペタンクなど世代を問わず楽しめる企画を通して、世代間交流を図りました。
- 脳トレウォーキングやダンベル体操、唱歌など、健康づくり・介護予防の取組を積極的に行いました。
- 災害時に住民同士の助け合いができるよう、災害時要援護者名簿の活用の検討などに取り組んでいきます。
- 子どもたちとの交流を持つことで、その親が地域に参画するきっかけを考えていきます。

地域活動の様子



高齢者体操教室「グリーン会」



子育てサロン「ぼてと」



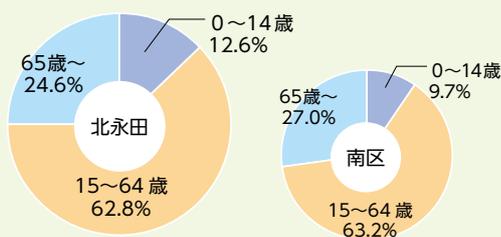
認知症サポーター養成講座



障害者地域作業所「めざみ」との交流会

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

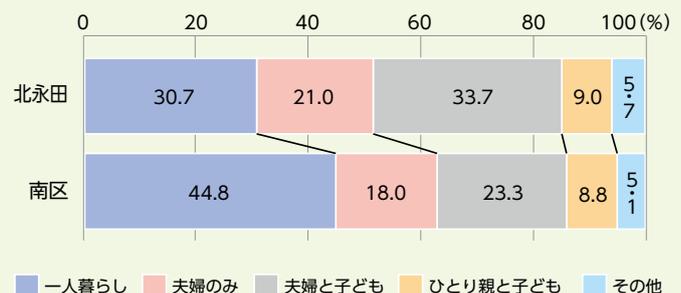
● 年齢3区分別人口割合 ●



北永田地区総人口：18,143人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

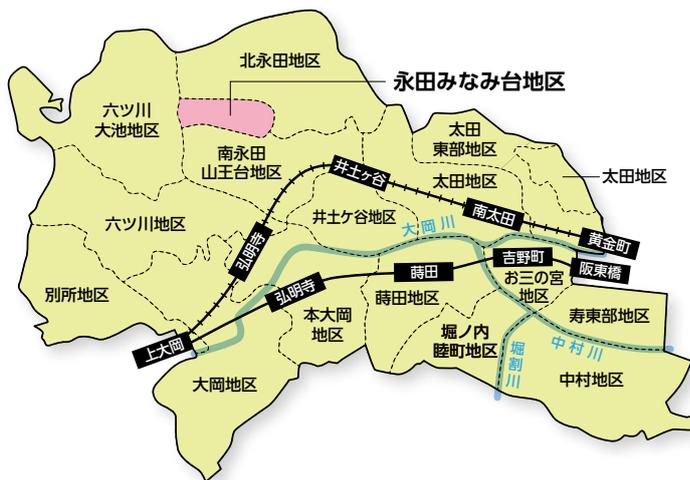
● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

永田みなみ台地区

永田みなみ台



第4期計画推進のスローガン

誰もが笑顔でつながる街づくり

第4期計画推進の取組目標

誰もが出会いを大切にし、交流できるまち

地域の魅力でもある豊富な自然や公園、遊歩道などの既存の場所での出会いや、サロン・イベントなどの交流活動を通じて、住民同士が「つながる」きっかけづくりを行います。

誰もが地域のさまざまな場面に参加できるまち

周辺の小学校やキッズクラブ、学童クラブ、中学校の部活動と連携し、子どもや学生、その親が地域と関わるきっかけをつくるなど、住民が気軽に参加できる企画・取組を考えていきます。

誰もが気軽に声をかけあい、見守り合えるまち

日常的に住民同士で声かけやあいさつ、見守り活動など、「このまちに住んでよかった！これからも住み続けたい！」と思える活動を行います。

まちの様子

- 団地内には、小学校、保育園、商店、ログハウスがある永田みなみ台公園があります。
- 京浜急行弘明寺駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 地区内に常設の居場所ができ、地域住民で運営を行っています。定期的にイベント等を行い、世代間交流や住民同士の顔見知りの関係づくりが進みました。
- 住民が孤立しないように、ボランティアが協力し、地区内の見守り活動に取り組みました。
- 一人暮らしや高齢者が多く、皆が笑顔で住み続けられる町を目指し、互いに助け合い、見守り合える具体的な取組を今後も検討していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「百人一首の集い」



子育てサロン「まんま」



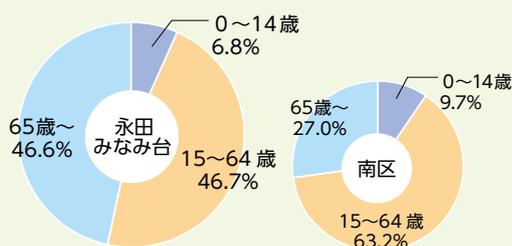
多世代交流イベント「つながり祭」



地域の多世代交流拠点「ほっとサライ」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

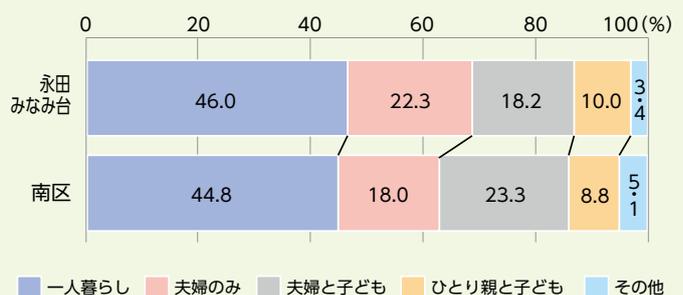
● 年齢3区分別人口割合 ●



永田みなみ台地区総人口：4,140人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- ウォークラリーやバザーなど、住民同士が気軽に交流できる取組を行いました。
- 野菜づくりや園芸など屋外での活動を活発に行いました。幅広い世代の方が活動に参加しています。
- 三世代交流や認知症の方も参加するサロンを継続して実施し、顔の見える関係づくりを進めています。
- 住民同士が気軽に声をかけあい、見守り合える地域となるための取組を検討していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「おしゃべり会」



「みまもりたい」研修会



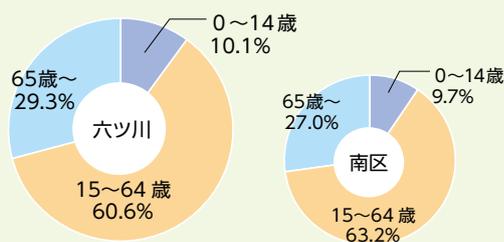
「ボッチャ体験会」



多世代交流サロン「カーネーション」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

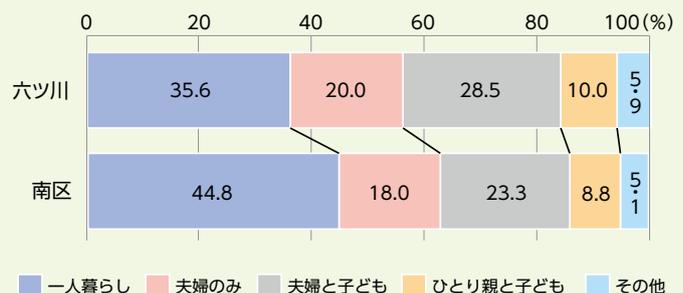
● 年齢3区分別人口割合 ●



六ツ川地区総人口：12,037人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 健康づくりを目的とした集いの場や町内会単位のサロンなど、住民が気軽に参加できる活動を行いました。
- 子どもの居場所を新たに立ち上げました。居場所を通じて、多世代交流の機会にもなっています。
- 自分ができることを活かした支えあい活動を今後も継続し、住民同士の見守りや助け合いに取り組んでいきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「やすらぎ」



子どもフリースペース「いらっしゃい」



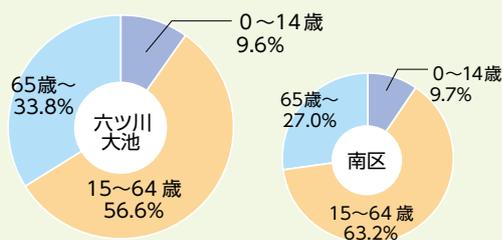
子育てサロン「すくすくひよっこ」



「支え合いグループすみれ」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

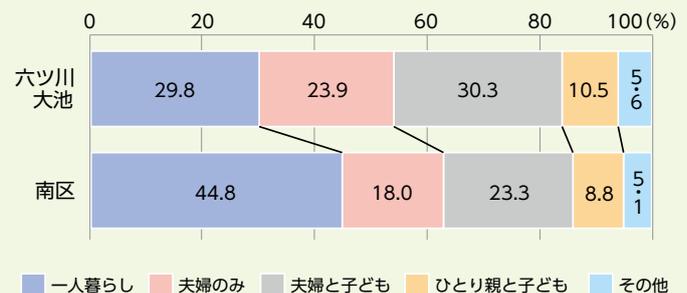
● 年齢3区分別人口割合 ●



六ツ川大池地区総人口：14,701人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

本大岡地区

大岡1丁目(一部)、2丁目(一部)
大橋町1～3丁目 中里町 弘明寺町
通町1～4丁目 中島町1～4丁目
若宮町1～4丁目



第4期計画推進のスローガン

地域まるごと3つの輪 ～つながり・見守り・健康～

第4期計画推進の取組目標

つながりの輪
～あいさつから
始めよう!～

日常生活の中での、ご近所同士の気軽な支え合いや人と人とのつながりが広がる活動に取り組んでいきます。

見守りの輪
～ご近所で
広げよう!～

ちょっとした「助け合い」を通じて、身近な場所で見守りの輪が広がる、やさしいまちづくりを進めていきます。

健康の輪
～笑顔で
広げよう!～

まち全体の笑顔や元気につながる活動を考えていきます。

まちの様子

- 大岡川、鎌倉街道が中央を走り、東西に丘陵部が広がる地形です。
- 戸建て住宅と集合住宅が混在しています。弘明寺商店街のほか図書館をはじめ様々な施設があります。
- 市営地下鉄、京浜急行弘明寺駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 仲間づくり、顔の見える関係づくりを目的とした「小さな集まり」での活動を行いました。
- 身近な地域で支え合える取組の検討を進めていきます。
- 情報ツールを通じて、災害の備えや健康など住民の自助力を高める啓発を行っていきます。
- 様々な世代の方に、地域活動やボランティア活動に関心を持ってもらうための取組を検討していきます。

地域活動の様子



高齢者の居場所「大岡川ふれあいサロン」



子育てサロン「さくらんぼ」



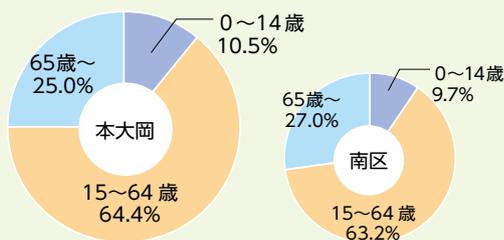
本大岡健康クラブ



福祉を考えるつどい

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

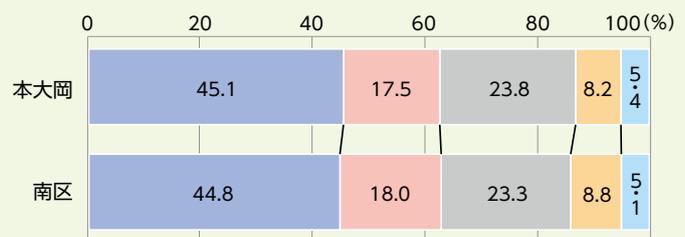
● 年齢3区分別人口割合 ●



本大岡地区総人口：15,498人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

大岡地区

大岡1丁目(一部)、2丁目(一部)、3～5丁目
中里1・2丁目、3丁目(一部)、4丁目(一部)



第4期計画推進のスローガン

隣近所を大切にし、安心して暮らせるまち

第4期計画推進の取組目標

日々のあいさつから顔見知りの関係になろう

いざという時、支え合える関係になれるよう、日常からの見守りやご近所同士でつながるきっかけづくりを行います。

気軽につながりあえる 楽しみのひろばを作ろう

身近な公園や地域の居場所を活用し、日頃から多世代でつながりあえる活動の場づくりを行います。

住民のパワーが活かせる きっかけを増やそう

誰もが輝き、住民一人ひとりの役割や生きがいを持てるよう、地域活動への思いを引き出す取組を考えていきます。

大岡のステキを伝え、 まちへの関心を高めよう

大岡の魅力について情報を発信し、まちへの関心が広がる企画・取組を考えていきます。

まちの様子

- 大岡川を中心とした平地部と平地を囲む丘陵部からなる、起伏にとんだ地形です。
- 住宅を中心に生活環境が形成され、弘明寺商店街や上大岡周辺も生活圏の一部です。
- 市営地下鉄・京浜急行弘明寺駅、上大岡駅が最寄り駅です。

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 地区全体でウォーキングや音楽祭などイベントを実施し、交流を図りました。
- 子どもたちが地域に参加できるきっかけを検討する場を新たに設け、地区内にある小・中学校との関係が深まりました。
- ちょっとした困りごとを地域で支えるちょこっとボランティア活動を立ち上げました。
- ラジオ体操やペタンクなどの取組を通じて、住民同士が身近で気軽につながるきっかけを検討していきます。

地域活動の様子



子育てサロン「ほっぺ大岡・ほっぺ中里」



健康ウォーク



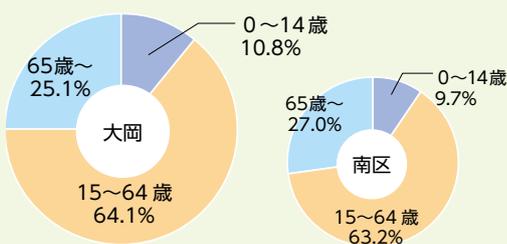
高齢者交流イベント「高等学校」



ちょこっとボランティア活動「大岡ふれあいサポート」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

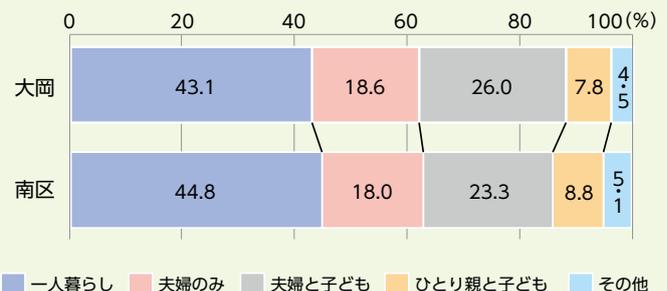
● 年齢3区分別人口割合 ●



大岡地区総人口：19,904人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出

第3期計画の振り返りと、第4期計画に向けて

- 地域の情報を広く届けるための広報紙を定期的に発行しました。紙面に写真を入れカラー印刷にする等、読みやすくする工夫をしました。
- ちょっとした困りごとを地域で支えるちょこっとボランティア活動を立ち上げ、取り組みました。
- 世代を問わず関心が高い「健康づくり」や「防災」等の取組や誰もができそうな取組を検討し、住民同士の顔の見える関係づくりを進めていきます。

地域活動の様子



高齢者お弁当配布事業



ノルディックウォーキング



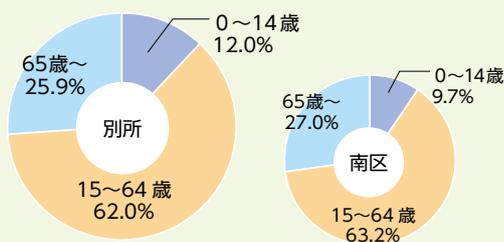
ちょこっとボランティア活動「スマイルサポート別所」



健康づくりと住民交流「ボッチャを楽しむ会」

※下記グラフ等の作成にあたっては、該当地区の区域に概ね対応する町丁目を抽出し集計をおこなっているため、集計結果はあくまで参考値です。

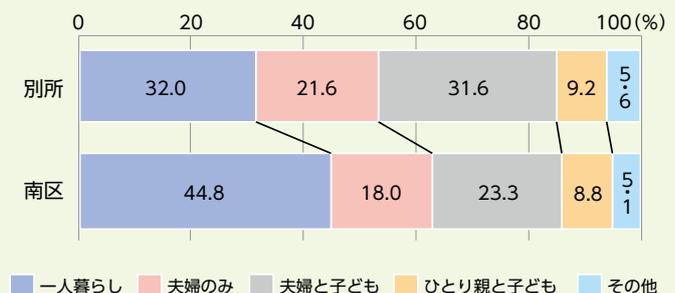
● 年齢3区分別人口割合 ●



別所地区総人口：11,313人

出典：横浜市住民基本台帳（令和3年3月末現在）より算出

● 家族の類型別世帯の割合 ●



■ 一人暮らし ■ 夫婦のみ ■ 夫婦と子ども ■ ひとり親と子ども ■ その他

出典：国勢調査データ（平成27年調査）より算出



健康づくりを支援する保健活動推進員

保健活動推進員は、地域のみなさんの健康づくりを支援しています。自治会町内会の推薦を受けて市長から委嘱され、地域組織と協力し活動しています。

地域で気軽に参加できる「ウォーキング」や「健康測定会」などを企画、実施したり、「タバコの手害」や、「特定健診やがん検診の大切さ」を伝える啓発などを行っています。また、地域の実情に合わせて高齢者支援や子育て支援にも取り組んでいます。



ウォーキングの様子



南区
キャッチコピー
広げよう
健康の笑(wa)



南区食生活等改善推進員会

“ヘルスマイト”の愛称で知られ、地域で健康づくりの案内役として、食育・健康づくりのボランティア活動を行っています。“私たちの健康は私たちの手で”を合言葉に、「おやこの食育」、「災害時の食」、「健康づくりウォーキング」など食を中心とした健康づくりを地域で展開しています。ヘルスマイトは区役所が開催する養成講座を修了したメンバーで構成されます。



食育講座の様子

1 第4期計画の推進

地区別計画は地区社協を中心に、地域住民と地域関係団体等と連携しながら推進します。各地区を区役所、区社協、ケアプラザから構成する地域支援チームが支援していきます。

区全体計画は、各実施主体が事業を通じて直接行う取組と地区別計画の取組や活動を間接的に支援する取組の2つの取組を推進します。また、より効果的な取組が展開できるよう、各組織内だけでなく組織間での連携、ネットワーク化を図りながら進めます。

2 推進体制

「みなみの福祉保健」を考える懇談会

医師会、歯科医師会、薬剤師会等の医療関係団体、子育て、高齢者、障害者等の福祉保健関係団体、地域団体及び学識経験者等が参加し、計画の進捗状況等について意見を聴取する場として設定します。

区全体計画策定・推進・評価会議

主に区役所における計画の策定や推進状況、評価についての共有、地域活動の基盤強化を図る為の支援等について検討する場として設定します。

課題別検討会

第4期計画策定時に整理した課題解決に向けて、各組織内だけでなく組織間での連携、ネットワーク化を図り、取組を進めます。「早期発見・見守りの仕組みづくり」、「福祉・保健活動の担い手づくり」の検討を進めていきます。

3 計画の振り返りとスケジュール

地区別計画、区全体計画とも実施主体が年1回、振り返りを実施します。また、結果については「みなみの福祉保健」を考える懇談会、区全体計画策定・推進・評価会議等で共有します。また、令和5年度には、中間振り返りを実施し、その結果を計画後半の取組に生かしていきます。

● 計画の振り返りの時期

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗確認・振り返り		→			
振り返り・策定	今期計画策定		中間振り返り	次期計画策定	→



ちょっとした気づきは大切なきっかけです～早期発見～

生活する上での困りごとは様々です。心身の不調、仕事を失う等困りごとがいくつもからみあって、一人ではどうしたらいいのかわからなくなり、自分らしく生活することが難しくなる人も…

あなたの周りの人に「おや？おかしいな？」と気になる人がいたら身近な地域の支援者や地域ケアプラザ、区役所窓口につなげてください。



● 生活困窮者自立支援制度～早期発見機能を有した第二のセーフティーネット～ ●

区役所生活支援課の窓口では「どうしたらいいのかわからない」をまずはとほぐすところから、自立支援員が一人ひとりの困りごとに寄り添い、下記相談・支援メニューから具体的な支援プランを組み立て、継続的に自立のサポートをする自立相談支援事業を行います。必要に応じ、他機関等との連携した相談支援も実施します。

● 主な相談・支援メニュー等

就労支援

- ジョブスポット
- ハローワーク

住居確保給付金

- 離職・休業減収
- 家賃補助・住宅確保

家計相談

- 収支バランス
- 債務整理



みんなでゲートキーパー ～自殺対策事業～

南区は、平成21年度から区民への普及啓発活動や、「区役所職員全員がゲートキーパー」となることを目標に、自殺対策に取り組んでいます。

自殺はひとつの原因で生じるものではなく、その背景には健康問題、失業、生活苦、人間関係など、いくつもの要因が関係しているといわれています。

「ゲートキーパー」とは、死にたいほどのつらさを抱えた人の悩みに気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人です。

自殺対策は、悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して、「孤立・孤独」を防ぎ、支援することが重要です。1人でも多くの方がゲートキーパーとしての意識を持ち、専門性の有無にかかわらず、それぞれの立場でできることに取り組んでいただくことが自殺対策につながります。

● ゲートキーパーの役割 ●

- ① 気づき……家族や仲間の「いつもと違う様子」に気づく
- ② 声かけ……大切な人の変化に気づいたら、勇気を出して声をかける
- ③ 傾聴……本人の気持ちを尊重し、話を聞く
- ④ つなぎ……早めに相談窓口に行くように勧める
- ⑤ 見守り……温かく寄り添いながら、じっくり見守る

第6章

資料編

1

策定経過

	年月	地区別計画	区全体計画
令和元年度	5～6月	区民・関係者アンケート	
	8～12月	関係機関・団体ヒアリング	
	2月	「みなみの福祉保健」を考える懇談会	
	3月	骨子の確定	
令和2年度	6月		区役所内計画策定検討部会(2回)
	8月		区役所各課・関係団体への策定作業依頼
	10～11月	第3期計画振り返り会議及び第4期地区別計画策定プロジェクト会議	区役所内計画策定検討部会
令和3年度	5月		素案作成
	7月		
	8月	地区別計画策定プロジェクト事務局会議(16地区で1～2回実施)	区役所内計画策定検討部会(2回)
	9月		素案確定
	10月		区民意見募集
	11月	地区内意見募集	
	12月	原案作成	原案作成
	1月		「みなみの福祉保健」を考える懇談会
	2月		
	3月		第4期地域福祉保健計画確定

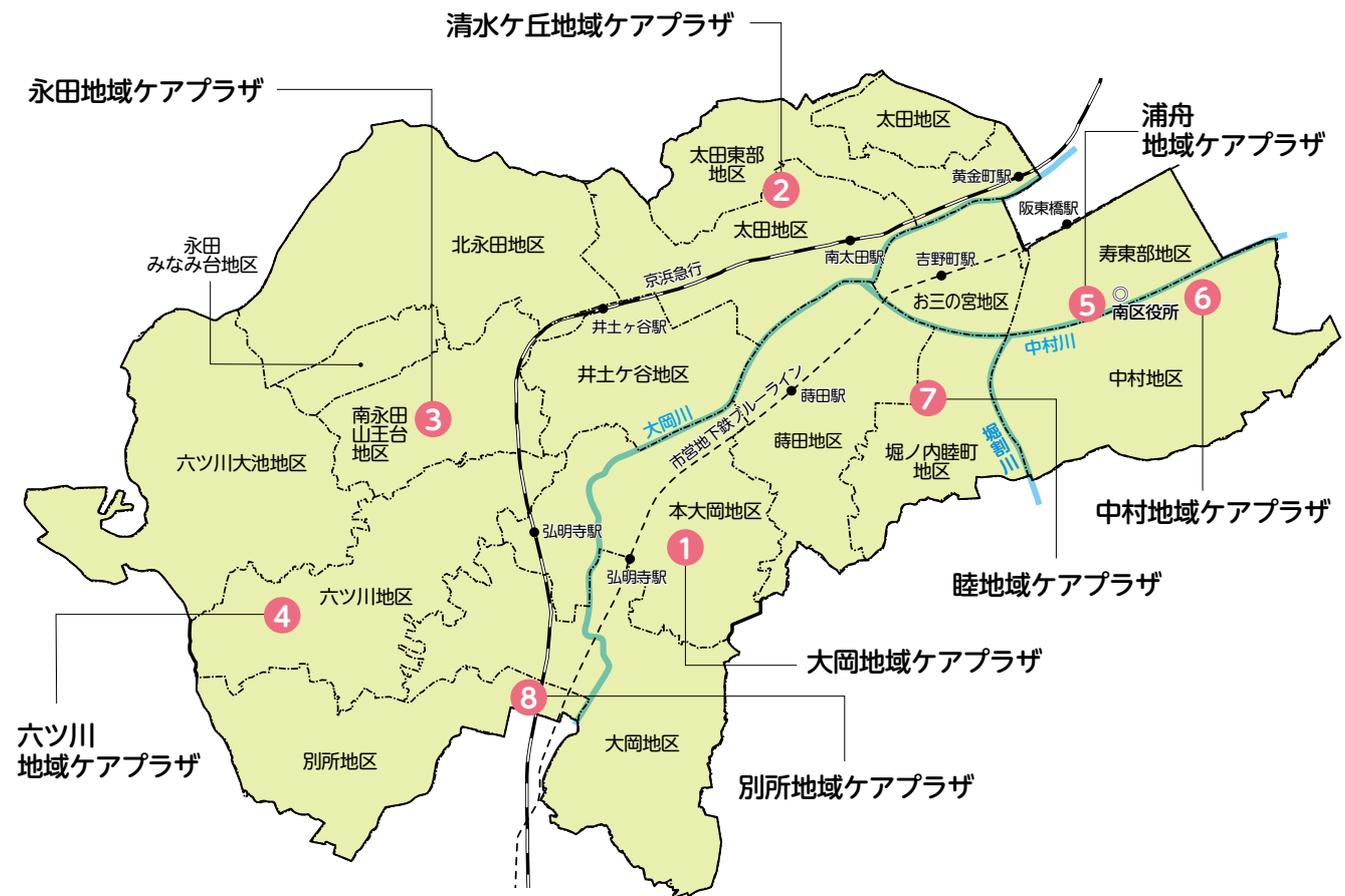
区民アンケート・関係者アンケートの詳細について▶



50音	名 称	説 明
え	SNS	ソーシャルネットワーク・サービスの略。人同士のつながりを電子化するサービスのこと。Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、LINE(ライン)などが知られています。
お	お元気で21健診	日常生活を振り返る18項目の問診と3つの体力測定を行うことで、運動機能や認知機能の低下などの“健康寿命に影響するサイン”に気づき、いきいきとした生活を続けられるよう介護予防の取組や情報などをお伝えしています。
か	介護予防活動	元気な方が介護が必要にならないよう、また、介護が必要な方もできるだけ機能を維持、改善できるようにする取組です。
こ	公園愛護会	身近な地域にある公園の清掃・除草等の日常的な管理をお願いしている地域の皆様が中心となったボランティア団体です。
	子どもの居場所・食堂	地域住民やNPO・社会福祉法人等が、子どもが安心して食事や勉強ができる居場所を無料または低料金で提供する取組です。
さ	災害時要援護者	高齢者や障害者、乳幼児、傷病者、外国人など、災害が起きた時、なんらかの手助けが必要な人のことです。
	サロン	高齢者や障害者、子育て世代の人等、様々な住民が、身近な地域でのお茶会や趣味活動、レクリエーション活動を通じて、住民同士の交流やつながりづくりを深める活動の場のことです。
し	自助グループ	疾病や障害、依存症など、様々な生きづらさ、共通の問題を感じる方々が自主的につながり、問題解決のために経験や情報を分かち合う自主グループです。
	自治会町内会	地域に住む皆さんが自らの手で相互に助け合いながら、自分たちの地域生活をよりよくしていくために、様々な活動を行う任意団体です。
	主観的健康観	医学的な健康状態ではなく、自らの健康状態を主観的に評価する指標で、死亡率や有病率等の客観的指標では表せない全体的な健康状態を捉える健康指標のことです。
せ	生活困窮者支援制度	生活上のさまざまな課題を抱えた人に対し、包括的な相談支援を継続的に行い、その自立を促進することを目的に創設された制度です。自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計相談支援事業、一時生活支援事業等があります。
た	ダブルケア	晩婚化・晩産化を背景に、育児期にあたるもの(世帯)が、親や親族の介護も同時に担うことです。

50音	名 称	説 明
ち	地域支援チーム	区役所、区社協、地域ケアプラザの職員で構成され、住民の皆さんとともに地域課題の解決を目指した取組を支援しています。
	地区社会福祉協議会	南区内には連合町内会単位に地区社会福祉協議会(地区社協)が組織され、地区内の福祉・保健活動の担い手の方が参加し、地域福祉の推進に取り組んでいます。
	ちょこっとボランティア活動	高齢者や障害児者等の生活のちょっとした支援(ゴミ出しや買い物など)を行う地域住民同士の助け合いの活動です。
に	担い手	地域の中で福祉や保健に関する様々な活動や取組が継続していくために、何かしらの役割(直接的及び間接的な)を持つ人達のことです。
	認知症カフェ	認知症の人や家族、地域住民等が、気軽に集える場です。
	認知症キャラバンメイト	「認知症サポーター養成講座」を行うボランティア講師のことです。
	認知症サポーター	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、自分のできる範囲で活動する「応援者」のことです。
は	<small>はちまるこーまる</small> 8050問題	80歳代の親とひきこもりが長期化した50歳代の子が同居している世帯で、介護や経済的問題が混在する状況のことです。
	ハマロードサポーター	身近な道路の清掃や美化活動等を行うボランティア団体です。
ふ	福祉保健活動拠点	地域における市民の自主的な福祉保健活動の場を提供する施設です。各区に1か所ずつ設置されています。市民の誰もが相互に支え合い、住み慣れたところで安心して暮らし続けられる地域社会を実現を目指し、福祉・保健活動等の場の提供及びボランティアの育成・相談・支援等を行っています。
ほ	防災出前塾	地震など災害による被害の軽減を目的とした区役所が実施している出前講座のことです。
ゆ	友愛活動員	老人クラブの会員などにより組織され、話し相手や見守りを必要としている高齢者を、同じ世代の仲間として支える活動をしています。
よ	横浜子育てパートナー	子育ての様々な悩みごと、困りごと等について、相談者の気持ちに寄り添い、必要な情報を調べたり適切な支援機関を紹介したりします。(利用料はかかりません)

●南区地域ケアプラザ(地域包括支援センター)一覧 (令和3年4月1日現在)



①	大岡地域ケアプラザ	〒232-0061 大岡一丁目14番1号	電話 (743)6102 FAX (743)6104
②	清水ヶ丘地域ケアプラザ	〒232-0007 清水ヶ丘49番地	電話 (253)0071 FAX (253)0146
③	永田地域ケアプラザ	〒232-0073 永田南二丁目16番31号	電話 (711)8611 FAX (711)8614
④	六ツ川地域ケアプラザ	〒232-0066 六ツ川二丁目3番211号	電話 (716)0680 FAX (716)0685
⑤	浦舟地域ケアプラザ	〒232-0024 浦舟町三丁目46番地	電話 (261)3315 FAX (264)1238
⑥	中村地域ケアプラザ	〒232-0033 中村町二丁目120番地3号	電話 (260)5100 FAX (260)5102
⑦	睦地域ケアプラザ	〒232-0041 睦町一丁目31番地1号	電話 (730)5151 FAX (711)0012
⑧	別所地域ケアプラザ	〒232-0064 別所一丁目7-23	電話 (716)3884 FAX (716)3885

※開館時間：月曜日～土曜日 9:00～21:00、日曜日・祝日 9:00～17:00

※ケアプラザの休館日は、区内全施設とも 12/29～1/3及び設備点検日(月1回)

南の風はあたたかい。

● 事務局・問合せ先 ●

南区役所福祉保健課 運営企画係事業企画担当

電話:045-341-1183 FAX:045-341-1189

〒232-0024 横浜市南区浦舟町2-33

社会福祉法人 横浜市南区社会福祉協議会

電話:045-260-2510 FAX:045-251-3264

〒232-0024 横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設